

日本気象学会 2009年度秋季大会

会期：2009年11月25日（水）～27日（金）

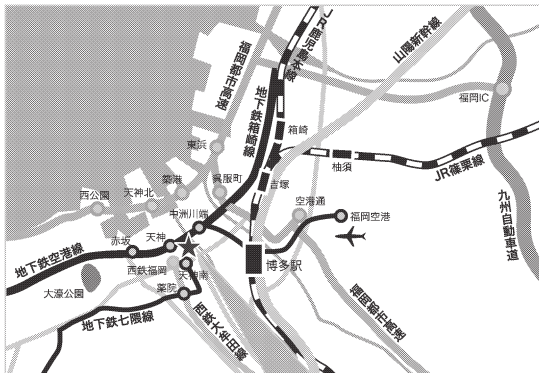
会場：アクロス福岡（福岡市中央区天神1丁目1番1号， <http://www.acros.or.jp/>）

大会実行委員会担当機関：福岡管区气象台，九州大学，福岡大学

大会委員長：西出則武（福岡管区气象台）

当日の会場への連絡先：大会実行委員会事務局（アクロス福岡会議室606） TEL・FAX：092-737-1075

会場案内図



- 福岡空港から天神まで地下鉄空港線で11分
- JR博多駅から天神まで地下鉄空港線で5分
- 西鉄福岡天神駅から徒歩10分
- 地下鉄空港線天神駅東口から徒歩3分
- 地下鉄七隈線天神南駅5番出口から徒歩3分
- バス停から徒歩 市役所北口から0分
天神4丁目から3分
天神郵便局前から5分

※地下鉄空港線天神駅16番出口から、
アクロス福岡地下2階へ直接入館できます。
※地下に有料駐車場（約100台）があります。
利用時間／7:00～22:30 入口は市役所側です



大会行事予定

A会場 : 国際会議場 (4階)
 B会場 : 大会議室 (7階)
 C会場 : 円形ホール (1階)
 D会場 : 会議室607 (6階)
 ポスター会場 : 交流ギャラリー (2階)

シンポジウム・各賞授与式会場 : 国際会議場 (4階)
 受付 : 国際会議場横ロビー (4階)
 大会事務局 : 会議室606 (6階)
 懇親会 : アークホテル博多ロイヤル
 (福岡市中央区天神3丁目13-20)

() は講演数, - は座長

		A会場	B会場	C会場	D会場
11月 25日 (水)	09:30～ 12:15	気象教育 (2, A101～A102) -富川喜弘- スペシャル・セッション 「国際極年 (IPY) 2007- 2008の成果と将来展 望」I (9, A103～A111) -富川喜弘- -橋田 元-	スペシャル・セッション 「温室効果ガス観測技術 衛星GOSAT「いぶき」 の利用研究」 (9, B101～B109) -今須良一- -横田達也-	大気力学 (12, C101～C112) -伊賀啓太-	降水システム I (6, D101～D106) -佐藤晋介- 相互作用 (8, D107～D114) -吉田 聡-
	13:15～ 17:00	スペシャル・セッション 「国際極年 (IPY) 2007- 2008の成果と将来展 望」II (14, A151～A164) -猪上 淳- -中島英彰-	気候システム I (20, B151～B170) -稲津 将- -筒井純一-	台風 (19, C151～C169) -別所康太郎- -吉岡真由美-	気象予報 (18, D151～D168) -澤田 謙- -前島康光-
	17:00～ 18:00	ポスター・セッション (94, P101～P194)			
11月 26日 (木)	09:15～ 12:00	中層大気 (13, A201～A213) -宮崎和幸-	気候システム II (16, B201～B216) -河本和明- -上口賢治-	物質循環・放射 (16, C201～C216) -鶴田治雄-	雲物理 (16, D201～D216) -大竹秀明-
	13:00～ 13:30	山本正野論文賞・堀内賞・奨励賞授与			
	13:30～ 15:10	山本正野論文賞・堀内賞記念講演			
	15:30～ 17:45	シンポジウム「東アジアの大気環境」司会:竹村俊彦 基調講演:秋元 肇・三上正男・中島映至・市瀬孝道			
	18:30～ 20:30	懇親会			
11月 27日 (金)	09:15～ 11:30	スペシャル・セッション 「気象情報・知識の伝達・ 普及」 (10, A301～A310) -白石晶二-	降水システム II (13, B301～B313) -用具敏郎-	スペシャル・セッション 「惑星大気の大様性」 (10, C301～C310) -はしもとじょーじ- -高木征弘-	大気境界層 (12, D301～D312) -小田僚子- -牛山朋来-
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (95, P301～P395)			
	13:30～ 17:00	スペシャル・セッション 「地球温暖化に伴う大気 海洋諸現象の変化を考 える-CMIP3マルチ気 候モデル比較解析研究 から」 (16, A351～A366) -尾瀬智昭- -中村 尚-	スペシャル・セッション 「雷嵐 (Severe Storm) の 観測的研究」 (17, B351～B367) -鈴木 修- -河崎善一郎-	熱帯大気 (20, C351～C370) -村田文絵- -清木亜矢子-	観測手法 (20, D351～D370) -中島 孝- -久慈 誠-

発表件数: 485件 (口頭発表296, ポスター189)

口頭発表の講演・質疑時間: 7分と2分

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052茨城県つくば市長峰1-1気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail: kouenkikaku2009a@metsoe.jp) まで。

大会参加費・懇親会費

大会参加費

- 大会参加費は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者A	8,000円	—
講演者B	5,000円	—
聴講者	3,000円	4,000円

- 講演者の種別：

講演者A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）

講演者B：講演者Aに該当しない講演者

- 講演件数が2件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。
- シンポジウムのみに参加する場合は、参加費は無料です。

懇親会費

- 懇親会費は以下の表の通りです。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	5,000円	6,000円
学生	4,000円	4,500円

支払方法

- 講演者の参加費の支払い方法は前納のみとなっており、既に受付は締め切られています。
- 懇親会費及び聴講者の参加費を前納する場合は、大会ホームページにて2009年10月6日（火）までにお支払下さい（郵便振替の場合は2009年9月29日（火）まで）。それを過ぎた場合は当日払いとなります。

領収書

- 領収書は参加者本人の名義で、大会当日受付にて名札と一緒に手渡される予定です。
- 名義の変更が必要な場合には再発行が可能ですので、大会当日受付にてお申し出下さい。

その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・懇親会費には会員・非会員の区別はありません。
- 非会員の方も規定の参加費・懇親会費をお支払い頂ければ大会・懇親会に会員と同様に参加することができます。

講演の方法

口頭発表（スペシャル・セッションを含む）

- 一般口頭発表の講演1件あたりの持ち時間は9分（講演7分・質疑2分）です。
- スペシャル・セッションの発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- 講演にはPCプロジェクターとOHPが使用できます。
- 止むを得ない事情で使用機器が講演申込時に予め届け出ていた機器と異なる場合は、セッション開始前までに座長と会場係にその旨を申し出て下さい。
- PCプロジェクターを使用する際は予め以下の点をご了承ください。
 - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
 - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
 - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をとることがあります。また、場合によってはOHPによる発表

に切り替えさせて頂くこともあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備やOHPシートの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

ポスター発表

- 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦240 cm × 横120 cm程度となっています。
- ポスターの掲示にあたって画鋏・ピン・テープ類が使用できません。これらは発表者自身で準備してください。
- ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守をお願いします。
 - ✓ 第1日の発表者は11月25日13:00～18:00
 - ✓ 第3日の発表者は11月27日09:00～13:00
- ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

保育施設の紹介について

今大会では、保育施設の斡旋ならびに保育施設利用料の一部補助を行います。利用を希望される方は、10月23日（金）までに下記の担当者までご連絡ください。

連絡先： 中島 健介（九州大学）
TEL: 092-642-2682, E-mail: kensuke@geo.kyushu-u.ac.jp

シンポジウム「東アジアの大気環境」

日時：大会第2日（11月26日） 15:30～17:45
 会場：アクロス福岡 国際会議場（大会A会場）
 司会：竹村 俊彦（九州大学応用力学研究所）

※シンポジウムの聴講は無料です

趣旨

日本では、高度経済成長の副作用として各地で公害が社会問題となり、現在も訴訟が継続中の事例もあります。しかし、様々な技術革新および施策により日本周辺の環境改善が図られ、一定の成果があげられました。一方、特にここ数年来、日本の大気環境の悪化が西日本を中心に顕著となっています。周囲に大規模な工場や幹線道路が無い離島でも大気が頻繁に霞んだり、夏季よりも春季に光化学スモッグが発生しやすかったりすることなどから、越境汚染による影響が強いと考えられています。

日本気象学会では、2003年度秋季大会において、「東アジア域における環境変化」と題したシンポジウムを開催し、国境を越えた問題への大気科学の対応について考えました。その後の大気環境の悪化は社会生活にも影響が及ぶようになり、多くの研究者が大気汚染の実態とその影響について解明すべく取り組んでいます。今回のシンポジウムでは、東アジア域の人為起源物質や黄砂による大気汚染について最新の知見を4名の講演者に提供して頂き、皆様に問題の現状を把握して頂くとともに、今後取り組むべき課題について踏み込んだ議論を行いたいと考えております。なお、このシンポジウムは一般の方々にも公開します。毎日の生活に直接的な影響のある大気汚染について、市民の皆様にもお考え頂ければと思います。

基調講演

- ・「東アジアにおけるオゾン・エアロゾル広域大気汚染」 秋元 肇（（財）日本環境衛生センター酸性雨研究センター）
- ・「東アジアにおけるダスト- 大気・気候系の解明」 三上正男（気象庁気象研究所物理気象研究部）
- ・「気候問題にかかわるエアロゾルの直接・間接のシグナルについて」 中島映至（東京大学気候システム研究センター）
- ・「黄砂と中国大都市粒子状物質の健康影響」 市瀬孝道（大分県立看護科学大学）

総合討論

スペシャル・セッションの概要紹介

国際極年（IPY）2007-2008の成果と将来展望

日時：大会第1日（11月25日）10:00～12:15, 13:15～17:00
 場所：A会場

趣旨：国際極年（IPY）2007-2008は、2007年3月から2009年3月までの二カ年にわたって実施されてきた。今回のIPYは125年前のIPYから数えて4回目にあたり、南極観測が開始された50年前のIPY、即ち国際地球観測年（IGY）に比べると、日本では大きな事業が始められたわけでもなく、また国民的熱狂に迎えられたわけでもなかった。これは、極域の科学が既に成熟期を迎えており、定常的に様々な観測・研究が実施されているためであろうか。しかし、こういう中で、実質的には多くの、新しい、エキサイティングな観測が南極や北極で行われてきた。日本気象学会においても、是非この機会に、IPY 2007-2008のプロジェクトとして、また関連して行われてきた興味ある観測・研究の成果を報告・紹介いただき、さらにIPYのレガシー（遺産）として今後のあるべき極域大気科学を考えていきたい。

世話人：山内 恭（国立極地研究所）、中島英彰（国立環境研究所）

温室効果ガス観測技術衛星GOSAT「いぶき」の利用研究

日時：大会第1日（11月25日）09:30～12:15
 場所：B会場

趣旨：2009年1月23日に打ち上げられた温室効果ガス観測技術衛星GOSATは「いぶき」と名付けられ、現在も順調に観測を続けている。GOSATは宇宙航空研究開発機構（JAXA）、環境省（MOE）、国立環境研究所（NIES）の共同プロジェクトであり、亜大陸規模での二酸化炭素の発生・吸収強度の推定誤差を半減させることを最大の目標としている。これまでに初期運用試験を終了し、二酸化炭素とメタンデータについて、まずは研究公募PIへの配布、続けて10月からは一般配布が始められている。本セッションの前半では、プロジェクト全体の進捗状況と短波長赤外（SWIR）バンドについての衛星打ち上げ後の基本性能やデータ解析結果について発表を行う。後半では、熱赤外バンド（TIR）と雲エアロゾルセンサー（CAI）についての性能評価と解析結果、および、校正、検証に関わる発表に加え、データ利用に関する解析速報について発表を行う。本セッションをGOSATデータの有効性と発展性を広く議論する機会としたい。

世話人：今須良一（東京大学気候システム研究センター）、井上 元（総合地球環境学研究所）、横田達也（国立環境研究所）、中澤高次（東北大学）、近藤 豊（東京大学先端科学技術研究センター）、中島映至（東京大学気候システム研究センター）

気象情報・知識の伝達・普及

日時：大会第3日（11月27日）09:15～11:30

場所：A会場

趣旨：折角の気象情報や知識も、伝わり、理解され、活用されなければ意味がありません。特に、防災関連情報は、適時性、理解容易性が重要なポイントになると考えられますが、それぞれ奥深いものがあり、配慮と工夫が必要です。また、受け手側の理解力、活用能力が問題になります。このセッションでは、気象情報の作成、伝達、関連知識の普及・訓練に携わる人々の、日ごろの研究成果が発表されることを期待しています。切り口としては、①情報作成時の配慮・工夫、②伝達に際しての配慮・工夫、③気象知識の普及及び気象情報等活用訓練の実施、といったところが挙げられますが、それぞれに様々な問題点があることでしょう。そうした問題点のありかや克服の仕方などについて発表をお願いします、その成果を共有することにより、今後の進展に繋げていきたいと考えています。

世話人：石原 洋（福岡管区気象台）、石井和子（日本気象予報士会）、弘中秀治（宇部市防災危機管理課）、岩田修（日本気象予報士会）、白石晶二（日本気象予報士会）

惑星大気の高多様性

日時：大会第3日（11月27日）09:15～11:30

場所：C会場

趣旨：太陽系惑星の大気現象にみられる多様性は、地球と異なる大気組成、雲、大気放射、地形といった様々な条件を反映している。近年、火星や金星、木星などを対象に、力学過程を中心とした大気モデリングが進展をみせているが、こうした物理過程についての理解や取り扱いは十分とはいえない。系外惑星の発見は、惑星のおかれうる条件がこれまで考えられてきた以上に多様であることを示しており、惑星大気の力学的研究においても物理過程の重要性が増しつつある。本セッションでは、惑星大気に関する力学や放射、化学、進化、形成など、幅広い分野における理論的あるいは観測・実験的研究の現状を共有したい。

世話人：高木征弘（東京大学大学院理学系研究科）、はしもとじょーじ（岡山大学大学院自然科学研究科）

地球温暖化に伴う大気海洋諸現象の変化を考えるーCMIP3マルチ気候モデル比較解析研究からー

日時：大会第3日（11月27日）13:30～17:00

場所：A会場

趣旨：近年、地球温暖化は市民生活の中でも現実的に語られ

ようになり、気象・気候学に携わる者は、実際にどのような変化が身近に起きるのかという問いに対する具体的な答えを社会から要請される時代になった。私たちの生活を左右する日々の天候は、温帯低気圧や台風の強さや経路、熱波や寒波、豪雨や干ばつといった、短周期の気象・海象の現れ方により大きく影響される。温暖化時にいかなる変化が起きるかという問いに対しては、このような短周期の気象・海象の将来変化についての見通しが必要である。本スペシャル・セッションでは、IPCC第4次報告書のためWCRP第3次結合モデル相互比較プログラム（CMIP3）の下に集約されたマルチモデルによる20世紀再現実験および21世紀シナリオ実験の中の諸現象の比較解析を通じて、現象のメカニズムについての理解を深め、温暖化の影響でそれらが将来いかに変化・変調するかについての予測結果を解釈するための議論をしたい。

世話人：高藪 縁（東京大学気候システム研究センター）、木本昌秀（東京大学気候システム研究センター）、尾瀬智昭（気象研究所）、中村 尚（東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学）

雷嵐（Severe Storm）の観測的研究

日時：大会第3日（11月27日）13:30～17:00

場所：B会場

趣旨：昨年の夏、日本各地ではいわゆる「ゲリラ豪雨」といわれるような一時間あたり100ミリを越えるような降水を記録する事例が多数発生した。例えば、愛知県岡崎市では一時間に140ミリ、そして滋賀県甲賀市では同120ミリの降水を記録した。また神戸市では、急激な河川の増水で小学生が犠牲になるという痛ましい事故も起こっている。さらに福井県敦賀市では、突風によりイベント用テントが吹き飛ばされ、死者が出るという事故も起こっている。これらを引き起こす原因は、雷嵐（Severe Storm）と呼ばれる現象で、降雹、豪雨、落雷、突風、竜巻といろいろな形となって我々に害を及ぼすとされている。そして、地球温暖化に伴ってこのSevere Stormが、我が国においても今後更に増加していくであろうと予想される。そこで本スペシャル・セッションでは、このSevere Stormを取り上げ、観測的研究の立場からの予測可能性などについて広く議論をしたい。

世話人：河崎善一郎（大阪大学大学院工学研究科）、楠 研一（気象研究所）、道本光一郎（防衛大学校）、牛尾知雄（大阪大学大学院工学研究科）

研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

第32回メソ気象研究会・気象災害委員会との共催発表会

日時：2009年11月24日（火）（大会前日）13:30～17:45

場所：九州大学国際ホール（福岡市東区箱崎6-10-1）

テーマ：「平成21年7月中国・九州北部豪雨と今後の豪雨の監視・予測に向けて」

コンピーナー：石原正仁・加藤輝之（気象研）

内容：2008年夏期に引き続き、2009年梅雨末期にも集中豪雨

が発生し、平成21年7月中国・九州北部豪雨では死者30名・負傷者46名を出すなど大きな被害になりました。今回は、メソ気象研究会と気象学会の気象災害委員会が共催して、集中豪雨についての話題を取り上げます。特に、前半（気象災害委員会主体）では平成21年7月中国・九州北部豪雨の実況・災害の状況だけでなく、近年の豪雨とそれに伴う災害の発生傾向や豪雨の発生メカニズムについて一般の方に理解しやすいように講演をして頂きます。また、後半（メソ気象研究会主体）では梅雨末期にみられる典型的な集中

豪雨だけでなく、局地的な豪雨に対する実況監視技術や予測技術についての最新の情報や研究内容を発表していただきます。幅広い方面からの多くの方々のご参加と活発な議論をお願いします。

プログラム：

- 13:30-13:35 趣旨説明
 13:35-14:05 平成21年7月中国・九州北部豪雨の予報と実況
 松本 積 (福岡管区気象台)
 14:05-14:35 中国・九州北部における近年の豪雨・大雨と
 災害
 早川誠而 (緑と花と彫刻の博物館)
 14:35-14:55 近年の豪雨、大雨の発生傾向
 藤部文昭 (気象研)
 14:55-15:35 集中豪雨の発生メカニズム
 加藤輝之 (気象研)

- 休憩
 15:50-16:00 豪雨の監視・予測の着目点について
 加藤輝之 (気象研)
 16:00-16:30 集中豪雨における新たな実況監視情報について
 —Xバンドマルチパラメータレーダネットワーク
 ワーカー
 真木雅之 (防災科研)
 16:30-16:55 雲解像4D-VARを用いた局地豪雨の同化・予報
 実験
 川畑拓矢 (気象研)
 16:55-16:20 全球SVメソアンサンブル予報による豪雨予測
 の可能性 —平成21年7月中国・九州北部豪雨
 — 原 昌弘 (気象研)
 17:20-17:35 総合討論

メソ研究会世話人：坪木和久 (名大地球水循環)、加藤輝之 (気象研)、小倉義光 (東大海洋研)

連絡先：加藤輝之 (気象研)
 E-mail : tkato@mri-jma.go.jp

極域・寒冷域研究連絡会

日時：2009年11月25日 (水) (大会第一日) 18:15~2時間程度
場所：アクロス福岡 国際会議場 (大会A会場)

話題：夏季北極圏の低気圧活動の特徴

- 「北極の大気循環のレビューと今年の北極海の状況」
 堀 正岳 (海洋研究開発機構 地球環境変動領域)
 「夏季北極圏のストームトラックについて」
 西井 和晃 (東京大学大学院 理学系研究科)
 「北極低気圧のライフサイクルについて」
 高橋 真司 (筑波大学大学院 生命環境科学研究科)
 田中 博 (筑波大学 計算科学研究センター)

内容：今回の極域・寒冷域研究連絡会では、夏季北極圏の低気圧活動の特徴についての講演会を行います。2008年春季の研究連絡会では、「北極圏で今何が起きているのか」に注目しましたが、今回は、それらの現象に関連して、北極圏の大規模大気循環の特徴を取り上げます。この数年の北極圏の急激な変化を考える上で、夏季北極圏の大気循環、とりわけ夏季の低気圧が果たす役割に注目する必要があるように思われます。例えば、北極海シベリア沿岸を中心とする夏季の低気圧活動が変調する事によって、陸域での降水増加・北極海上の風系変化に伴う海水減少などが指

摘されています。一方、この低気圧は海氷の融解に影響を与えるポーフォート海上の高気圧と双極子状に発達・維持することがあり、その因果関係など未解明の部分もあります。このように夏季北極圏の低気圧活動は、北極圏の気候システムに大きな影響を与える可能性があるため、その発達や維持機構の解明は北極圏の将来予測に対しても重要な意味を持つでしょう。そこで今回は、3件の講演をお願いしました。まず、北極の大気循環のレビューをして頂いた後、夏季北極圏のストームトラック活動について、及び北極域における低気圧のライフサイクルについて、最新の研究を紹介して頂く予定です。今回の研究会が、夏季北極圏の大気循環の特徴についての議論を深める場を提供できればと考えています。

代表：山崎孝治 (北大院地球環境)

世話人：平沢尚彦 (極地研)、中村 尚 (東大院理)、浮田甚郎 (新潟大自然科学)、高田久美子 (FRGC)、阿部彩子 (東大気候システム)、佐藤 薫 (東大院理)、本田明治 (新潟大自然科学)、齋藤冬樹・高谷康太郎・堀 正岳・猪上 淳 (JAMSTEC)

URL：http://polaris.nipr.ac.jp/~pras/coolnet/cl_index

問い合わせ先：猪上 淳 (JAMSTEC)

TEL：046-867-9483 **FAX：**046-867-9455

E-mail：jun.inoue@jamstec.go.jp

オゾン研究連絡会

日時：2009年11月25日 (水) (大会第一日) 18:15~20:15

場所：アクロス福岡 大会議室 (大会B会場)

内容：トロントで6月1-5日に開催された CCMVal workshop に参加された以下の2名の方より、会議の報告とそれに関連した研究の紹介を行っていただきます。CCMValは成層圏化学気候モデルの相互比較プロジェクトであり、世界中から多くの研究機関が参加してモデルの総合的な検証を進めています。プロジェクト報告書の刊行を来年に控え、様々な角度からのモデル間比較結果が出てきており、それを元に今後のモデル研究の方向性などについても議論が始まっています。今回はお二人の参加者から、それぞれの立場で話題になっていたテーマや興味深い内容を取り上げていただきます。ご関心をお持ちの方はぜひご参加ください。

- ・柴田清孝 (気象研究所)
- ・中村 哲 (国立環境研究所)

※なお、9月に打ち上げられたSMILESに関する速報的な話題提供も予定しています。

世話人：笠井康子 (NICT)、川上修司 (JAXA)、河本 望 (RESTEC)、永島達也 (環境研)、高島久洋 (JAMSTEC)、村田 功 (東北大院環境科学)

連絡先：村田 功 (東北大院環境科学)

TEL：022-795-5776, **FAX：**022-795-5775

E-mail：murata@pat.gp.tohoku.ac.jp

第7回統合的陸域圏研究連絡会

日時：2009年11月25日（水）（大会第一日）18:15～20:15

場所：アクロス福岡 会議室607（大会D会場）

内容：「統合的陸域圏研究連絡会」においては、陸面を中心とする大気境界層から土壌内に渡る陸域圏を主な研究対象とし、以下の目的により活動を行っています。

- 陸域圏における物理的、生物的諸過程の理解に向けた、広い視野に立った研究のための情報交換
- 陸域圏を対象とした基礎的なメカニズムの理解と、他の圏との広域的・長期的相互作用システムの解明
- 直接観測、間接観測、およびモデリングの融合
- 空間的・時間的スケール間ギャップの問題の解決
- 正確な現状の認識と、実質的に意味のある手法の開発
- それらのための研究協力関係の構築

今回は、2013年度に打ち上げ予定の、第1期気候変動観測衛星（GCOM-C1）を全体テーマとして、4名の招待講演者による講演を中心に研究会を開催いたします。

講演者および講演題目：

村上 浩（宇宙航空研究開発機構）「GCOM-C1ミッションについて」

本多嘉明（千葉大学）「GCOM-C1 の目指すもの（陸域）」

堀 雅裕（宇宙航空研究開発機構）「GCOM-C1/SGL1の観測からわかる雪氷変動～積雪の面的+質的情報の抽出～」

村岡裕由（岐阜大学）「森林生態系炭素循環の統合的研究から衛星生態学による研究コミュニティの連携へ」

世話人：馬淵和雄（気象研）、大谷義一（森林総研）、奈原顕郎（筑波大）、伊藤昭彦（環境研）、佐藤 永（FRGC）、大石龍太（東大気候システム）

代表連絡先：馬淵和雄（気象研）

TEL：029-853-8722，FAX：029-853-8728，

E-mail：kmabuchi@mri-jma.go.jp

2010年度春季大会の予告

2010年度春季大会は、2010年5月23日（日）～26日（水）に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木）で開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは2010年2月頃となる予定です。

大会第1日 [11月25日 (水)] 9:30~12:15 口頭発表

A 会場

気象教育

座長 : 富川喜弘 (極地研)

- A101 龍山 康朗 (RKB) エフコープが取り組む環境測定活動について
 A102 亀田 貴雄 (北見工大社会環境) 学校教育における雪結晶生成実験 — 北見工業大学の物理学実験での実施例 —

スペシャル・セッション「国際極年 (IPY) 2007-2008の成果と将来展望」I

座長 : 富川喜弘 (極地研)

- A103 山内 恭 (極地研) 国際極年 (IPY) 2007-2008の成果と将来展望
 *A104 中島 英彰 (環境研) JARE48によるIPY2007-2008期間の南極昭和基地における観測
 A105 佐伯 浩介 (東北大院環境) FTIRを用いた2007年南極昭和基地における大気微量成分の観測
 A106 大矢 麻奈未 (筑波大院生命環境) FTIR観測による2007年南極昭和基地・大気中オゾンの定量化

座長 : 橋田 元 (極地研)

- *A107 近藤 豊 (東大先端研) バイオマス燃焼による北極域のエアロゾル生成量・物理化学特性・輸送過程
 *A108 榎本 浩之 (北見工大) 国際極年における日本-スウェーデン南極トラバース氷床観測
 A109 原 圭一郎 (福岡大理) 日本・スウェーデン共同内陸トラバースでの表面積雪とエアロゾルの観測
 A110 鈴木 香寿恵 (極地研) 南極氷床への大気輸送起源の空間分布とその季節変化
 A111 平沢 尚彦 (極地研) 南極域におけるブロッキング後の総観規模場の変化とドームふじ基地の雲・降水

※* の講演は持ち時間20分, その他の講演の持ち時間は13分です.

大会第1日 [11月25日 (水)] 9:30~12:15 口頭発表

B 会場

スペシャル・セッション「温室効果ガス観測技術衛星GOSAT「いぶき」の利用研究」

座長 : 今須良一 (東大気候システム)

- B101 久世 暁彦 (JAXA) いぶき搭載温室効果ガス観測センサの性能と運用状況
- B102 吉田 幸生 (環境研) GOSAT TANSO-FTS SWIR による二酸化炭素・メタンのカラム平均濃度の導出とその初期結果
- B103 江口 菜穂 (環境研) GOSAT TANSO-FTS SWIR Level 2 データ質の評価と二酸化炭素・メタンの時空間変動 (初期解析結果)
- B104 内野 修 (環境研) GOSAT のCO₂とCH₄カラム平均混合比の初期検証について

座長 : 横田達也 (環境研)

- B105 今須 良一 (東大気候システム) GOSAT/TANSO-FTS熱赤外スペクトルの校正精度と気体濃度解析
- B106 齋藤 尚子 (東大気候システム) GOSAT/TANSO-FTSバンド4のCO₂プロファイル初期導出結果
- B107 菊地 信行 (環境研) GOSAT TANSO-CAIのL1データとL2大気プロダクト
- B108 石田 春磨 (東海大情技セ) GOSAT-CAI観測による雲マスクデータの検証
- B109 金 憲淑 (地球研) Estimates of regional CH₄ fluxes using NIES transport model

総合討論

※各講演の持ち時間は15分です。

大会第1日 [11月25日 (水)] 9:30~12:15 口頭発表

C 会場

大気力学

座長 : 伊賀啓太 (東大海洋研)

- C101 岩山 隆寛 (神戸大院理) 一般化された2次元流体系のGreen関数
- C102 末吉 雅和 (気象研) 一般化された 2 次元流体系における平行流の安定性 : 速度固定条件の場合
- C103 野田 彰 (JAMSTEC) 反対称渦拡散テンソルと3次元Eliassen-Palmフラックス
- C104 伊賀 啓太 (東大海洋研) シア一流中の中立波-遠方にある波の振舞い-
- C105 隅田 勝将 (京大院理) 1.5層準地衡系におけるシア一流中の孤立渦について
- C106 齊藤 直彬 (京大院理) 回転軸が鉛直方向から傾いた系におけるsin型水平シア流と熱対流の相互作用
- C107 中村 晃三 (JAMSTEC) 仮温度が周囲と等しい気塊の安定性による大気成層の分類
- C108 島崎 景子 (九大院理) 積雲内の凝結揺らぎに対する大気・固体地球結合系の線形応答
- C109 三村 和男 (東海大教養学) 閉ループ内熱対流室内実験 ~自発的レジームシフト~
- C110 増子 友紀 (東海大理) 閉ループ内熱対流実験~2種類のカオスの反転の検証~
- C111 松島 和宏 (東海大教養) 低回転速度時における半球規模回転水槽実験で生じた流れ
- C112 竹村 和人 (京大院理) ブロッキング形成期の予測可能性に関する事例解析

大会第1日 [11月25日 (水)] 9:30~12:15 口頭発表

D 会場

降水システム I

座長 : 佐藤晋介 (NICT)

- D101 加藤 輝之 (気象研) 西日本で見られる積乱雲の雲底高度の高度別出現頻度 ~雲解像モデルの予想結果から~
- D102 佐藤 晋介 (NICT) 400MHz帯WPR/RASSによる梅雨前線帯の降水過程と温度場の観測
- D103 大竹 秀明 (気象研) 寒気吹き出し時に日本海北部に発生する太い筋雲の形成メカニズム
- D104 折口 征二 (九大院理) 下層ジェットの強化機構 ~総観スケール・メソスケール下層ジェットの数値的研究~
- D105 檜尾 守昭 (気象大) 飽和大気の力学理論に関する一手法の改善
- D106 木下 仁 (福岡管区气象台) 2009 年2 月24 日~25 日九州付近に発生した顕著な副振動について

相互作用

座長 : 吉田 聡 (JAMSTEC)

- D107 近本 喜光 (東大気候システム) 熱帯大西洋におけるSST偏差の南北勾配とその予測可能性
- D108 吉田 聡 (JAMSTEC) AFESにおけるメキシコ湾流SST勾配に対する降水応答
- D109 田口 文明 (JAMSTEC) 北太平洋亜寒帯前線域に集中する十年規模海面水温偏差とその大気への影響 -中解像度大気海洋結合モデルによる研究-
- D110 小川 史明 (東大院理) 中緯度SST勾配が移動性擾乱活動に与える影響
- D111 山本 勝 (九大応力研) 日本海SSTが北西太平洋域の気象に与える影響
- D112 浅井 丈昭 (北大院理) 東シナ海の黒潮による梅雨への影響 : 降水集中化の可能性
- D113 川合 義美 (JAMSTEC) 梅雨期の降水イベントと海面水温日変化に関する数値実験 (I)
- D114 山内 明子 (伊豆海研) 局所的標準フラクタル次元を用いた層別海水温の変動解析ー伊豆半島周辺を例としてー

大会第1日 [11月25日 (水)] 13:15~17:00 口頭発表

A 会場

スペシャル・セッション「国際極年 (IPY) 2007-2008の成果と将来展望」II

座長 : 猪上 淳 (JAMSTEC)

- *A151 遊馬 芳雄 (琉球大理) IPYとしてのWinter T-PARC
- A152 高橋 真司 (筑波大院生命環境) 夏季における北極低気圧のライフサイクルについて
- A153 田中 博 (筑波大計算科学) 筑波大学CCSに移植したNICAMによる北極低気圧の数値実験 (2)
- A154 山崎 孝治 (北大院地球環境) 北極海の9月の海氷面積変動に対する冬と夏の風の役割
- A155 小木 雅世 (JAMSTEC) 夏の北極振動と関連したトレンドと北極海の海氷の関係
- A156 栗田 直幸 (JAMSTEC) シベリア域の秋期降雪にみられる北極域水循環の変調
- A157 飯島 慈裕 (JAMSTEC) 東シベリアにおける近年の気候変動に伴う凍土・水循環過程の変調

休憩

座長 : 中島英彰 (環境研)

- *A158 菊地 隆 (JAMSTEC) 北極海での国際極年における海氷・海洋観測: レビュー
- A159 堀 正岳 (JAMSTEC) 北極海航海における大気・海氷の観測支援資料の作成と自動配信
- A160 猪上 淳 (JAMSTEC) 無人飛行機を用いた北極における大気・地表面/海面観測
- A161 橋田 元 (極地研) 南極昭和基地で観測されたODEs - 海水圏生物地球化学の展開に向けて -
- *A162 佐藤 薫 (東大院理) 南極昭和基地大型大気レーダー計画の現状 Current Status of Program of the Antarctic Syowa MST/IS Radar (PANSY)
- A163 富川 喜弘 (極地研) 成層圏突然昇温後の回復過程
- A164 田中 良昌 (ROIS) 成層圏突然昇温に伴う電離圏E層ダイナモの変化

総合討論

※* の講演は持ち時間20分、その他の講演の持ち時間は13分です。

大会第1日 [11月25日 (水)] 13:15~17:00 口頭発表

B 会場

気候システム I

座長 : 稲津 将 (北大院理)

- B151 岡本 創 (東北大理) CloudSat/CALIPSOによる氷粒子微物理特性の全球解析 II:海上と陸上の違い
- B152 広瀬 民志 (京大院理) 衛星雲量観測と地上雲量観測の長期変動の比較
- B153 堀之内 武 (北大院地球環境) 放射対流平衡におけるハドレー循環: 基本的な制約条件と対流-波結合の役割
- B154 渡部 雅浩 (東大気候システム) 定在波と非定常擾乱による南北熱輸送に見られる補償関係
- B155 佐藤 尚毅 (東京学芸大自然) 大気海洋結合のある浅水波方程式系において導出された位相速度の遅い東進モード
- B156 袁 潮霞 (東大院理) An AGCM Study on the Teleconnection of IOD to the Tibetan Plateau in Early Winter
- B157 稲津 将 (北大院理) 隣接閉領域トラッキング
- B158 村上 茂教 (気象研) 氷期気候系におけるエネルギー変換の空間分布

座長 : 筒井純一 (電中研)

- B159 村上 英世 (東和大) 地球温暖化防止法の提案
- B160 筒井 純一 (電中研) 簡易気候モデルによる中・長期的なCO₂排出経路の検討
- B161 Strassmann Kuno (環境研) Millennial extensions of Representative Concentration Pathway placeholder scenarios : long term implications of 21st century choices
- B162 大石 龍太 (東大気候システム) 動態植生-大気大循環結合モデルを用いて再現された完新世温暖期のPolar-amplificationにおける植生分布変化の役割とバイアス補正手法の有効性
- B163 立入 郁 (JAMSTEC) 陸域生態系モデルのパラメータ不確実性とその気候へのフィードバックへの影響
- B164 馬淵 和雄 (気象研) アジア域熱帯林減少の地域的なエネルギー・炭素収支への影響 (3) —エネルギー収支の時間的変動推移について—
- B165 川瀬 宏明 (環境研) 20世紀のエアロゾルの増加がアフリカの降水トレンドに及ぼす影響
- B166 江守 正多 (環境研) 気候変化予測から影響評価への不確実性伝播 —南米の水資源影響評価を例として—
- B167 杉 正人 (JAMSTEC) 地球温暖化に伴う熱帯低気圧の地域ごとの発生数の変化
- B168 村上 裕之 (AESTO) 20km格子全球大気モデルで予測された地球温暖化時の北大西洋における熱帯低気圧のトラック変化
- B169 金田 幸恵 (AESTO) 水平解像度5km/2km非静力学モデルによる領域温暖化予測実験 7月の東日本太平洋側でみられた強雨の増加傾向について
- B170 大泉 三津夫 (気象大) マルチモデルアンサンブル実験での地域気候モデルの降積雪特性 — その2. JRA25による長期積分 —

大会第1日 [11月25日 (水)] 13:15~17:00 口頭発表

C 会場

台風

座長 : 別所康太郎 (気象研)

- C151 中澤 哲夫 (気象研) 伊勢湾台風再現実験 ―概要―
- C152 釜堀 弘隆 (気象研) 伊勢湾台風再現実験---気象庁全球同化システムを用いた伊勢湾台風再解析---
- C153 新藤 永樹 (気象研) 伊勢湾台風再現実験 ―全球モデルによる進路予報―
- C154 川畑 拓矢 (気象研) 伊勢湾台風再現実験 ―気象庁メソ解析による再予報―
- C155 小西 達男 (佐賀地方气象台) 1828年シーボルト台風 (子年の大風) と高潮
- C156 上野 充 (気象研) QuikSCATデータで見た台風コア域内の降水と地上風非対称の関係
- C157 沢田 雅洋 (東北大院理) 蒸発冷却が台風に伴うレインバンドに与える影響
- C158 山田 広幸 (JAMSTEC) 台風0806号 (Fengshen)の発生期にみられる日変化
- C159 山岬 正紀 (JAMSTEC) 対流圏中層のメソ対流渦の形成と台風の発生
- C160 吉岡 真由美 (名大地球水循環) 雲解像非静力モデルを用いた熱帯低気圧擾乱の初期発達過程

座長 : 吉岡真由美 (名大地球水循環)

- C161 宮本 佳明 (京大防災研) 軸対称モデルを用いた熱帯低気圧の発達速度に対する海面交換係数の感度実験
- C162 和田 章義 (気象研) 海面水温日変化が台風強度予測に与える影響
- C163 別所 康太郎 (気象研) T-PARCにおけるドロップゾンデ観測と台風周辺環境の解析
- C164 星野 俊介 (気象研) T-PARCで算出された大気追跡風データの精度検証
- C165 山下 浩史 (気象庁数値予報) 2008年台風第13号の特別観測データを使用した気象庁全球モデルによるインパクト実験の評価 (第2報)
- C166 太田 洋一郎 (気象庁数値予報) 2008年台風第15号の特別観測データを使用した気象庁全球モデルによるインパクト実験の評価 (第2報)
- C167 谷口 博 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルによるサイクロン Nargis のアンサンブルシミュレーション
- C168 坪木 和久 (名大地球水循環) 温暖化気候において極端に発達する台風の雲解像シミュレーション
- C169 吉野 純 (岐阜大院工) 現在・将来気候における東海地方における可能最大風速の評価

大会第1日 [11月25日 (水)] 13:15~17:00 口頭発表

D 会場

気象予報

座長 : 澤田 謙 (気象庁数値予報)

- D151 清水 慎吾 (防災科研) 動径風とGPS可降水量のデータ同化インパクト -2006年7月15日の事例解析-
- D152 山口 弘誠 (京大生存基盤) 偏波レーダーCOBRA から推定される降水粒子種類のデータ同化
- D153 黒田 徹 (気象研) ミャンマーサイクロンNargisのLETKFデータ同化実験1
- D154 小司 禎教 (気象研) サイクロンNargisのGPSデータ同化実験
- D155 茂木 耕作 (JAMSTEC) 客観解析の精度向上に対する強化観測データ追加の効果
- D156 青梨 和正 (気象研) マイクロ波輝度温度を雲解像モデルへ同化するEnsembleに基づく変分同化法 (EnVA)
- D157 澤田 謙 (気象庁数値予報) 非静力学メソ4次元変分法 (JNoVA) の現業化
- D158 澤田 謙 (気象庁数値予報) JRA-25長期再解析データにJNoVAを用いた短期領域再解析実験

座長 : 前島康光 (名大地球水循環)

- D159 国井 勝 (気象研) メソアンサンブル予報に対する初期摂動結合手法の試み
- D160 原 昌弘 (気象研) 全球SV法によるメソアンサンブル予報実験 (2009年7月豪雨の事例)
- D161 斉藤 和雄 (気象研) メソアンサンブル予報におけるBGM法とLETKFの比較 (2) EnKFサイクルへの境界摂動の影響
- D162 石田 純一 (気象庁数値予報) 気象庁における高分解能局地モデルの開発
- D163 榎本 剛 (JAMSTEC) 浅水波モデルへのスペクトル双3次内挿法の適用
- D164 前島 康光 (名大地球水循環) 全球静力学-雲解像非斉一結合モデルの開発
- D165 堀田 大介 (気象庁数値予報) データ同化サイクルを利用した、物理過程開発への階層的アプローチの試み
- D166 長澤 亮二 (気象庁数値予報) 気象庁非静力学モデルの放射過程における雲のオーバーラップの問題点
- D167 林 修吾 (気象研) 東南アジア域と日本域におけるNHMとWRF-ARWによる短期予報での日変化の再現性検証水平解像度20kmモデルと1wayネストした5kmモデルでの結果
- D168 辰己 賢一 (京大防災研) WRFモデルによるリアルタイム高分解能局地予報の試み: 2009年梅雨期における降雨予測の精度検証

大会第2日 [11月26日 (木)] 9:15~12:00 口頭発表

A 会場

中層大気

座長 : 宮崎和幸 (JAMSTEC)

- A201 黒田 友二 (気象研) 成層圏突然昇温時に見られた対流圏環状モード予測可能性に対する大きな初期値敏感性
- A202 一丸 知子 (九大院理) 2009年1月大規模突然昇温の特徴とその予報について
- A203 小寺 邦彦 (名大STE) 2009年1月の成層圏突然昇温現象の熱帯成層圏・対流圏への影響
- A204 江口 菜穂 (環境研) 2009年北半球成層圏突然昇温による熱帯の積雲活動と絹雲への影響について～成層圏循環場と赤道季節内変動との関係を探る～
- A205 木下 武也 (東大院理) 赤道域における3次元波活動度フラックス
- A206 Chen Ying-Wen (九大院理) Ultra-fast Kelvin Waves Simulated by the Kyushu University GCM
- A207 井上 誠 (東大気候システム) 成層圏QBOと秋季アジア域における対流圏循環との関係
- A208 佐治 憲介 (京大院理) 成層圏でのプラネタリー波の反射と関連する帯状風構造
- A209 山下 陽介 (東大気候システム) 太陽11年周期変動に伴う成層圏大気の応答
- A210 宮崎 和幸 (JAMSTEC) 中高緯度対流圏界領域における高安定度・物質濃度勾配の形成機構
- A211 菅田 誠治 (環境研) 北半球冬季成層圏極渦の孤立性の年々変動
- A212 秋吉 英治 (環境研) オゾンホールと南半球の波動活動との関係
- A213 長浜 芳寛 (横浜国大環境情報) FTIRで観測された中緯度オゾン全量とドブソン分光計およびTOMSオゾン全量との比較

大会第2日 [11月26日 (木)] 9:15~12:00 口頭発表

B 会場

気候システムⅡ

座長：河本和明（長崎大環境科学）

- B201 佐藤 友徳（北大院地球環境）北東アジアにおける夏季の降水起源の年々変動について
- B202 早坂 忠裕（東北大院理）中国における日射量の長期変動とその要因（その2）
- B203 浜田 純一（JAMSTEC）インドネシア・ジャカルタ周辺の雨季の降水経年変動に関する研究
- B204 谷田貝 亜紀代（地球研）インドラダック地域における気象観測
- B205 馬場 賢治（京都産業大全セ）Bellingshausen Sea付近における海氷と大気、海洋の季節内変動の関係について
- B206 河本 和明（長崎大環境科学）東アジアにおける短波放射変動に対する雲・エアロゾル・水蒸気の寄与の地理分布
- B207 上口 賢治（気候研）長期高解像度降水プロダクトAPHRO_PRのための降水量推定手法の開発
- B208 中澤 哲夫（気象研）全球客観解析データの地上風の強風発生確率

座長：上口賢治（気象研）

- B209 岩本 勉之（北大低温研）AMSR-Eを用いた北極海の熱フラックスと海氷生産量分布の見積り
- B210 徐 健青（JAMSTEC）地表面日射量の推定とその応用について
- B211 加藤 内藏進（岡山大教育）西日本の梅雨期を中心とした降水の季節進行と2000年代における特徴—多降水日の現われ方に注目して—（序報）
- B212 岩崎 博之（群馬大教育）AMeDAS データを用いた弱雨の経年変化の地理的特徴の研究
- B213 大河内 康正（八代高専）アメダスで見た日本の温暖化の現状
- B214 藤部 文昭（気象研）日本域の地上気温の長期格子点データに含まれる都市バイアスの検討
- B215 岩木 真穂（京大院人間環境）降水イベント数値化の試み
- B216 若月 泰孝（JAMSTEC）時間、日降水量に対する新しい確率分布関数の検討

大会第2日 [11月26日 (木)] 9:15~12:00 口頭発表

C 会場

物質循環・放射

座長 : 鶴田治雄 (東大気候システム)

- C201 三枝 信子 (環境研) 2003年夏の気象の偏差が東アジア陸域生態系の光合成生産量に与えたインパクト
- C202 小畑 淳 (気象研) 大気メタン急激増加に対する気候炭素循環モデルの応答—1000倍増加に対する数十年規模の応答について—
- C203 須藤 健悟 (名大院環境) 対流圏オゾンおよびメタンの過去再現シミュレーション: 初期結果
- C204 永島 達也 (環境研) 異なる手法を用いた東アジア対流圏オゾンの発生源別寄与推定の比較
- C205 梶野 瑞王 (東大先端研) エアロゾル化学輸送モデルEMTACSを用いたアジア大陸アウトフロー領域におけるエアロゾル変容過程に関する数値実験
- C206 江口 健太 (九大院総理工) 地球を一周するアジア起源ダストの輸送について
- C207 常松 展充 (千葉大CEReS) 地球温暖化に伴う大気安定度の変化が黄砂の発生と輸送に及ぼす影響のシミュレーションの試行
- C208 青木 一真 (富山大院理工) 立山・浄土山観測における高標高地域のエアロゾルの光学的特性: その2
- C209 高村 民雄 (千葉大CEReS) 2009年3-4月の福江島におけるエアロゾルの放射効果
- C210 鶴田 治雄 (東大気候システム) ピマイ (タイ) における大気エアロゾルの化学特性と光学特性 (第2報)
- C211 Khatri Pradeep (CEReS) A study of spectral dependency of aerosol light absorption over East China Sea region using sky radiometer data
- C212 酒井 哲 (気象研) 室内実験によるエアロゾル偏光解消度の測定: ライダーデータの定量解釈に向けて
- C213 當房 豊 (金沢大FSO) 海洋大気境界層内で起こりうる鉱物粒子の形状・化学組成の変化
- C214 青木 輝夫 (気象研) 多層積雪アルベド物理モデル
- C215 庭野 匡思 (気象研) 積雪アルベド物理モデルの高度化—積雪粒径計算過程の組み込み—
- C216 亀田 貴雄 (北見工大社会環境) 皆既日食が地上付近の大気および積雪におよぼす影響— 2003年11月23日南極ドームふじでの観測結果 —

大会第2日 [11月26日 (木)] 9:15~12:00 口頭発表

D 会場

雲物理

座長 : 大竹秀明 (気象研)

- D201 村上 正隆 (気象研) 暖候期四国上空における雲・エアロゾル特性 (その2)
- D202 伊ヶ崎 英雄 (気象協会) 人工降雨実験観測データを用いた人工降雨有効雲の定性的判定法の試み (2)
- D203 小池 克征 (いであ (株)) 地上観測データを用いた利根川上流域における降雪決定因子に関する研究
- D204 大竹 秀明 (気象研) 山岳性降雪雲内の雲水・氷水量の分布 -モデルとのvalidationに向けて-
- D205 山下 克也 (気象研) 人工降雨シーディング用吸湿性粒子の雲凝結核特性 (その3)
- D206 田尻 拓也 (気象研) MRI雲生成チェンバーによる雲物理実験 ダスト粒子~雲粒・氷晶発生過程 (序報)
- D207 鈴木 賢士 (山口大農) ビデオゾンデで観測された霰粒子の雲物理学的特徴
- D208 中村 晃三 (JAMSTEC) ビン法雲物理モデルを使った暖かい雨のバルク法モデルの改良 (その2 : ビンモデルで再現された雲微物理過程)
- D209 三隅 良平 (防災科研) 対流性降雪雲の発達期における雲物理構造—多次元ビン法シミュレーション—
- D210 石坂 雅昭 (防災科研) 主要降雪粒子の判別と降雪動態の記述について—粒径・落下速度座標における降雪粒子質量フラックス分布の中心—
- D211 永戸 久喜 (気象研) TRMM/PR・TMI観測データを用いたJMA-NHM雲微物理過程の検証
- D212 久保田 拓志 (JAXA/EORC) 衛星搭載降水レーダシミュレータによるJMA-NHM雲微物理過程の検証
- D213 小林 隆久 (気象研) 衛星で観測した雲光学的厚さと雲粒サイズに及ぼす降水の影響
- D214 飯田 絵里菜 (東大院理) 東シナ海・黄海における層雲・層積雲の雲微物理特性:A-FORCE航空機観測の初期解析結果
- D215 深尾 昌一郎 (福井工大) Mammatus clouds (乳房雲)と背景乱流の3波長帯レーダーによる同時観測
- D216 岩崎 杉紀 (防衛大地球海洋) 下部成層圏に達する深い対流の出現頻度分布の推定

大会第3日 [11月27日 (金)] 9:15~11:30 口頭発表**A 会場****スペシャル・セッション「気象情報・知識の伝達・普及」**

座長：白石晶二（気象予報士会）

- A301 松本 積（福岡管区気象台）気象台における防災気象情報作成時の配慮・工夫
- A302 多々良 秀世（NPO法人 WFT）気象災害の図上訓練（DIG）について
- A303 白石 晶二（気象予報士会）気象防災知識の普及をどう進めるか
- A304 関 隆則（気象予報士会）千葉県内小学校での気象実験教室の実施
- A305 荒川 知子（田園調布学園）中学校・高等学校における気象教育充実の一例
- A306 加藤 内蔵進（岡山大教育）季節サイクルや季節感を切り口とした日本の気候とその変化に関する授業（岡山一宮高校での実践報告）
- A307 馬場 賢治（京都産業大全セ）大学生の地球温暖化に関する意識について
- A308 名越 利幸（岩手大教育）「学校気象台」地域連携ネットワークの構築－岩手大学発信地域連携事業－
- A309 中山 秀晃（気象予報士会）利用者サイドに立った天気情報の開発－旅行用天気情報の研究と実践－
- A310 平松 章男（北陸先端大知識）異常天候早期警戒情報を利用した商品発注の意思決定について

大会第3日 [11月27日 (金)] 9:15~11:30 口頭発表

B 会場

降水システムⅡ

座長 : 用貝敏郎 (鹿児島地方気象台)

- B301 清野 直子 (気象研) 東京における強雨事例のシミュレーション—2007年8月の事例における都市の効果—
- B302 川畑 拓矢 (気象研) 雑司ヶ谷豪雨に関するデータ同化・予報実験 -GPS水蒸気データのインパクト-
- B303 高橋 日出男 (首都大) 2008年8月5日に発生した東京都区部短時間強雨時の気温分布と地上風系
- B304 用貝 敏郎 (鹿児島地方気象台) 2008年8月5日、東京都豊島区付近で発生した局地的大雨 —まず下層暖湿気流で積乱雲が発生、その後冷氣外出流により降水が強化された—
- B305 用貝 敏郎 (鹿児島地方気象台) 2009年7月24日、福岡県で発生した記録的短時間大雨 (平成21年7月中国・九州北部豪雨) —WPRで観測された高度3,000m以下の南成分の下層ジェット—
- B306 津口 裕茂 (気象研) 2008年7月28日に兵庫県南部に大雨をもたらした降水系の雲解像モデルによる再現実験
- B307 加藤 輝之 (気象研) 平成21年7月中国・九州北部豪雨および8月8~10日四国・岡山・兵庫での豪雨の発生要因
- B308 廣川 康隆 (気象庁予報) 2007年11月11-12日に青森県で発生した大雨~その2: 渦状擾乱の発達に対する運動エネルギー収支解析
- B309 山本 晴彦 (山口大農) 2009年8月9日に発生した兵庫県播磨地方における豪雨の特徴と洪水災害の概要
- B310 二宮 洸三 (JAMSTEC) 1968年8月17日飛騨川豪雨の総観規模環境場
- B311 松本 全史 (京大院理) 竜巻の複合渦の理想化数値シミュレーションによる構造解析
- B312 益子 渉 (気象研) 2006年台風第13号に伴う竜巻の数値シミュレーション—ミニスーパーセルに伴う竜巻の発生機構 (Ⅱ)—
- B313 岩根 賢幸 (筑波大院生命環境) 2009年7月27日群馬県館林市で観測された竜巻の発生環境場について~雲解像モデルによる再現結果から~

大会第3日 [11月27日 (金)] 9:15~11:30 口頭発表

C 会場

スペシャル・セッション「惑星大気多様性」

座長 : はしもとじょーじ (岡山大自然)

- C301 黒田 剛史 (JAXA/ISAS) 火星全球ダストストームによる極夜の昇温と南北循環強化のメカニズム
- C302 黒田 剛史 (JAXA/ISAS) サブミリ波サウンダによる火星中高層大気循環の観測
- C303 池田 恒平 (東大気候システム) 金星大気放射伝達モデルの開発 (その2)
- C304 高木 征弘 (東大院理) 金星大気平均子午面循環
- C305 山本 勝 (九大応力研) 金星大気低安定度層の1kmスケール擾乱の数値実験

座長 : 高木征弘 (東大院理)

- C306 加藤 亮平 (九大院理) 木星大気大規模渦の数値モデリング
- C307 高橋 芳幸 (神戸大院理) 大気大循環モデルを用いた陸と海のある惑星の大気大循環計算
- C308 石渡 正樹 (北大理) 系外惑星の気候探索をめざした数値モデルの開発
- C309 関根 康人 (東大院新領域) 土星の衛星タイタンの気象と大気化学に対する有機物エアロゾルの役割
- C310 はしもと じょーじ (岡山大自然) 金星に海洋が存在した可能性

大会第3日 [11月27日 (金)] 9:15~11:30 口頭発表

D 会場

大気境界層

座長 : 小田僚子 (NICT)

- D301 伊藤 純至 (東大海洋研) Dust Devilの鉛直渦度の成因
- D302 山口 春季 (東大海洋研) 湿潤対流混合層内に発生する鉛直渦
- D303 牛山 朋来 (農環研) 隔離距離による水稻交雑抑制の数値実験
- D304 渡邊 明 (福島大理工) 最低気温の出現特性について
- D305 竹見 哲也 (京大防災研) メソ気象擾乱による強風変動のSGSモデルを用いた高解像度気象解析
- D306 重田 祥範 (岡大院自然科学) 愛媛県大洲市で発生する局地風「肱川あらし」-地上気象観測と数値シミュレーションによる解析-

座長 : 牛山朋来 (農環研)

- D307 近藤 裕昭 (産総研) 安定境界層とラドン濃度 -気象研鉄塔における測定-
- D308 小田 僚子 (NICT) ドップラーライダーにより仙台空港で観測されたストリーク幅の推定
- D309 磯口 治 (JAXA/EORC) 合成開口レーダを用いた島嶼周辺の海上風特性
- D310 中村 美紀 (京大院人間環境) 日本科学未来館におけるフラクタル人工樹木の実証実験
- D311 大西 将徳 (未来館) 2009年7月22日の日食時気温変化と都市と郊外の熱慣性
- D312 酒井 敏 (京大院人間環境) 大気境界層の諸問題 (まとめ)

大会第3日 [11月27日 (金)] 13:30~17:00 口頭発表

A 会場

スペシャル・セッション「地球温暖化に伴う大気海洋諸現象の変化を考える—CMIP3マルチ気候モデル比較解析研究から—」

座長：尾瀬智昭（気象研）

- A351 西井 和晃（東大院理）気候モデル再現性評価における変数冗長性を低減する幾つかの試み
- A352 横井 寛（東大気候システム）クラスタ解析を用いた気候モデルの気候場再現性能評価の試み
- A353 市川 裕樹（名大院環境）熱帯大気大循環と雲の放射影響力の関係性に関する気候モデル再現性
- A354 廣田 渚郎（東大気候システム）CMIP3 マルチモデルにおける熱帯海洋上の非断熱加熱の鉛直構造
- A355 安田 珠幾（気象研）熱帯太平洋における海洋平均構造とENSO特性の将来変化
- A356 末吉 雅和（気象研）CMIP3 マルチモデルデータによる海洋 Rossby 波位相速度の将来変化
- A357 柴田 清孝（気象研）CMIP3モデルによる20世紀ランにおける成層圏ENSOのシグナル
- A358 佐藤 尚毅（東京学芸大自然）CMIP3マルチ気候モデルにおけるMJO再現性評価

座長：中村 尚（東大院理）

- A359 安富 奈津子（地球研）高解像度日平均データから求めた夏季降水の季節進行と長期変化
- A360 二宮 洸三（JAMSTEC）21世紀における5~7月のメイユ・梅雨前線降水帯に関するモデル相互比較
- A361 河谷 芳雄（JAMSTEC）CMIP3モデルにおける夏季太平洋高気圧の気候場および月内変動の再現性
- A362 井上 知栄（筑波大院生命環境）CMIP3マルチ気候モデルにおける夏季アジアモンスーン循環の季節変化再現性とその将来変化
- A363 谷本 陽一（北大院地球環境）大西洋赤道冷水舌が南アメリカ降水帯に与える影響：気候モデルにおける再現性
- A364 遠藤 洋和（気象研）CMIP3マルチモデルにおけるヤマセに関連した大規模循環場の再現性と将来変化
- A365 高橋 千陽（JAMSTEC）インド洋SSTの北半球夏期における亜熱帯アジアへの影響-CMIP3マルチ気候モデル再現性評価-
- A366 尾瀬 智昭（気象研）CMIP3モデルの西太平洋降水変動再現性と温暖化予測

総合討論

大会第3日 [11月27日 (金)] 13:30~17:00 口頭発表

B 会場

スペシャル・セッション「雷嵐 (Severe Storm) の観測的研究」

座長 : 鈴木 修 (気象研)

- B351 鈴木 真一 (防災科研) 2009年7月27日に館林市で発生した竜巻をもたらした対流雲の構造
- B352 猪上 華子 (気象研) 2009年7月27日群馬県館林市で発生した竜巻の親雲と環境場の特徴
- B353 中里 真久 (気象研) 竜巻予測パラメータTVPを用いた竜巻渦内風ベクトル及び被害分布の推定
- B354 楠 研一 (気象研) 小型ドップラー気象レーダーによる鉄道安全運行のための突風探知システムの基礎的研究 -最終年度を迎えて-
- B355 楠 研一 (気象研) 2008年1月25日 庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱 (Ⅲ) -上陸前後の竜巻渦の立体構造の変化-
- B356 新井 健一郎 (JR東日本) 小型ドップラー気象レーダーを用いた突風探知システムのプロトタイプの開発 -2007年12月5日の突風事例による渦探知性能の基本テスト-
- B357 下瀬 健一 (気象研) 冬季に庄内平野で観測された突風とじょう乱について
- B358 下瀬 健一 (気象研) 冬季に庄内平野で観測された突風の発生環境場の解析
- B359 別所 康太郎 (気象研) 冬季日本海側における突風の気象環境について
- B360 大塚 清敏 (大林組技研) 強風や突風に対する小地形の影響
- B361 白石 晶二 (気象予報士会) シビアストーム情報の活用上の問題点など

休憩

座長 : 河崎善一郎 (阪大院工)

- B362 西橋 政秀 (気象研) 庄内高密度観測網による冬季雷の実態解明 -研究計画の概要-
- B363 道本 光一郎 (防衛大) 気象レーダーによる雷放電現象の予測法についての考察
- B364 平原 淳 (気象庁観測) レーダー3次元データを用いた落雷推定技術の開発
- B365 吉川 栄一 (阪大院工) VHF波帯広帯域デジタル干渉計とKu帯広帯域レーダを用いた雷嵐に対する初期観測結果
- B366 秋田 学 (阪大院工) オーストラリア・ダーウィンにおける15年間の雷嵐観測
- B367 中村 佳敬 (阪大院工) 雷放電と降水粒子の微物理過程

総合討論

大会第3日 [11月27日 (金)] 13:30~17:00 口頭発表

C 会場

熱帯大気

座長 : 村田文絵 (高知大)

- C351 林 泰一 (京大防災研) インド亜大陸北東部、アッサム、メガラヤ、バングラデシュにおける気象・気候と人間活動に関する研究の進展
- C352 村田 文絵 (高知大) ダッカにおける大気安定度の季節変化
- C353 康 アルム (京大防災研) インド亜大陸北東部における降水の地域別特徴
- C354 木口 雅司 (東大生産研) インド東北部・バングラデシュにおける2009年1~7月の降水現象
- C355 寺尾 徹 (香川大教育) バングラデシュにおける下痢症流行パターンに対する気象水文環境と全球的気候システム変動の影響
- C356 田畑 悦和 (京大生存研) 1.3-GHzウィンドプロファイラ及びTRMM降雨レーダー観測による海洋大陸における地域的降水日変化
- C357 森 修一 (JAMSTEC) スマトラ島沿岸域における対流系の日周期移動と海上再発達について - HARIMAU2006観測結果第3報 -
- C358 米山 邦夫 (JAMSTEC) 中部熱帯インド洋に見られる乾燥空気侵入特性
- C359 勝俣 昌己 (JAMSTEC) PALAU2008集中観測期間の熱・水収支
- C360 耿 驪 (JAMSTEC) MIRAIにより観測された西部北太平洋における夏のモンスーンオンセットに伴う降水システム組織化の変遷
- C361 伍 培明 (JAMSTEC) 海南島に持続的豪雨をもたらした熱帯総観規模擾乱の発達

座長 : 清木亜矢子 (JAMSTEC)

- C362 清木 亜矢子 (JAMSTEC) 異なるENSO位相における熱帯季節内振動と偏東風サージとの関係
- C363 久保田 尚之 (JAMSTEC) 海洋大陸域周辺におけるENSOによる降水量の年々変動の地域特性
- C364 須賀 友也 (神戸大院理) 静止気象衛星毎時長期間連続観測による東インド洋・海洋大陸・西太平洋領域の季節内・季節・経年変動
- C365 樋口 博隆 (東大気候システム) 南米大陸上における雲・降水特性の季節間・季節内の変動について
- C366 那須野 智江 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルを用いた2006年12月 MJO 再現実験第3報 --- 雲内鉛直流の特性と対流の組織化における役割 ---
- C367 久保川 陽呂鎮 (北大院地球環境) 全球・非静力学大気モデルNICAMの2006年12月MJO実験を用いた対流圏界面領域の解析
- C368 森 正人 (東大気候システム) 水惑星実験における東西非対称なSSTに対するHadley循環の非線型応答
- C369 Roquelaure Stevie (東北大院理) Transition from shallow to deep convection near the ITCZ over the Pacific Ocean: Idealistic experiments.
- C370 吉崎 正憲 (JAMSTEC) wave CISKを用いた熱的擾乱に関する成長率の水平波数依存性

大会第3日 [11月27日 (金)] 13:30~17:00 口頭発表

D 会場

観測手法

座長：中島 孝（東海大）

- D351 山内 洋（気象研）重量式および転倒ます型雨量計を用いた光学式ディストロメータの精度検証
- D352 花房 龍男（技術顧問）超音波風速温度計と熱電対温度計による潜熱フラックスの測定（その2）
- D353 石井 昌憲（NICT）CO₂濃度計測用コヒーレント差分吸収ライダーの開発④
- D354 長澤 親生（首都大システムデザイン）CO₂濃度鉛直分布観測用次世代ライダーの開発（1）
- D355 林 洋司（東大気候システム）地上設置型望遠鏡による温室効果ガスの観測
- D356 小野木 茂（気象研）1.3GHzウィンドプロファイラーの下層測風性能の改善
- D357 岩井 宏徳（NICT）ドップラーライダーによる水平運動量の鉛直フラックスの推定
- D358 佐野 哲也（山梨大院医学工学総合研究）山梨大学X-バンド二重偏波ドップラーレーダーで観測された降水システムの初期観測結果
- D359 杉谷 茂夫（NICT）沖縄偏波降雨レーダCOBRAの送信偏波校正作業の省力化と高精度化
- D360 井上 陽子（奈良女子大）地上観測とリモートセンシングデータを用いた大気環境の研究—視程と大気消散係数—
- D361 久慈 誠（奈良女子大理）航空機観測による熱帯対流圏界面付近の氷晶雲の特徴

座長：久慈 誠（奈良女子大理）

- D362 青梨 和正（気象研）マイクロ波放射計の高周波の輝度温度とその前方計算法の開発
- D363 上清 直隆（気象研）ハイパースペクトル赤外サウンダの再編成チャンネルの有効性について
- D364 入江 仁士（JAMSTEC）静止大気環境衛星による大気汚染物質の観測 — 紫外可視域のシミュレーション —
- D365 村山 利幸（TUMSAT）シーロメーターとラジオゾンデの同時観測から得られた海洋上低層雲の特性
- D366 大野 裕一（NICT）雲レーダデータによる雲出現率の日変化の解析
- D367 萩原 雄一朗（東北大院理）CloudSat/CALIPSOから求めた雲頂高度の再考
- D368 濱田 篤（地球研）静止衛星split-window観測に基づく準リアルタイム雲頂高度データの作成
- D369 中島 孝（東海大）複数の異なる近赤外波長から推定される雲粒有効半径の違いについて
- D370 古澤 文江（名大地球水循環）TRMM衛星観測と長期再解析JRA-25データによる無降水域の地表面射出率を使った降水推定への応用に向けて

大会第1日〔11月25日(水)〕17:00~18:00 ポスター・セッション

- P101 関 隆則(気象予報士会) 10分降水量の度数分布で見た豪雨の推移
- P102 堀内 祥之(九大院理) 梅雨期に大雨をもたらすメソ対流系について
- P103 上庄 拓哉(北大院環境科学) オホーツク海沿岸帯状雲の特徴と分類
- P104 渡来 靖(立正大地球環境科学) 2009年2月20日に関東平野内陸域で見られた急激な気温上昇現象の事例解析
- P105 児玉 安正(弘前大院理工) 青森県津軽地方で行われた冬季季節風とヤマセの高層気象観測(序報)
- P106 平塚 いづみ(弘前大院理工) 2008年6月13日青森県藤崎町に発生した竜巻の解析: 函館ドップラーレーダーを用いて
- P107 岩根 賢幸(筑波大院生命環境) 2004年9月30日東京都大田区で観測された竜巻の発生環境について
- P108 一川 孝平(東北大院理) 成田空港での着陸事故時の気象状況の数値実験
- P109 鶴島 大樹(東北大院環境) LLSにより観測された首都圏周辺における落雷頻度分布
- P110 早坂 忠裕(東北大院理) 東北大学における放射・エアロゾル・雲の観測
- P111 櫻井 南海子(防災科研) 積乱雲の発生・発達過程解明に向けたKaバンド雲レーダの集中観測の概要
- P112 土屋 拓視(東海大) 光学衛星センサによる雲判別性能の統計的調査
- P113 岩崎 杉紀(防衛大地球海洋) ライダ観測に対する注意事項—光の低周波刺激に対する金魚の反応—
- P114 白石 浩一(福岡大理) ムーンフォトメータの開発、2009年春季観測された汚染大気エアロゾルの光学特性について
- P115 川村 誠治(NICT) デジタルビームフォーミングを利用した改良型バイスタティック降雨レーダ実験
- P116 石元 裕史(気象研) 地上多波長マイクロ波放射計による雲域での温度・水蒸気1D-Varリトリーバル
- P117 小林 隆久(気象研) 雲・降水レーダーシミュレーターの開発
- P118 関澤 信也(NICT) 1.3GHz帯ウィンドプロファイラの同一周波数干渉の一検討 — 市街地における干渉の影響がない離隔距離 —
- P119 山本 宗尚(千葉大CEReS) 衛星データによる北西太平洋域に急激に発達する低気圧の水平構造
- P120 和田 華代(山口大農) 沖縄偏波降雨レーダーCOBRAとビデオゾンデによる同期観測—2009年ビデオゾンデ観測の概要—
- P121 杉浦 幸之助(JAMSTEC) 簡易降水量計を用いた東シベリアSuntar-Khayata山脈周辺における降水量観測
- P122 田上 雅浩(熊大自然科学) 熊本における降水同位体比の季節変動と短時間変動
- P123 村田 文絵(高知大) 高知における線状降水帯による雨滴粒度分布
- P124 斎藤 篤思(気象研) 航空機搭載用氷晶核測定装置の開発
- P125 佐藤 陽祐(東大気候システム) ビン型雲モデルを用いた対流性降水の降水粒子形成メカニズムに関する数値実験
- P126 中井 専人(防災科研) 降雪プロファイルと地上降雪: 数値実験と観測との比較
- P127 中村 誠臣(気象研) 浅い積雲対流の表現の解像度や境界層スキーム等への依存性についての非静力学モデル(NHM)による比較実験
- P128 瀬古 弘(気象研) 都市部に大雨をもたらした雷雨のLETKFを用いたアンサンブル予報実験
- P129 境 剛志(東北大院理) LETKFを利用した空港周辺の3次元風に関する実況監視予測システムの構築
- P130 大門 禎広(気象予報士会) 青空の放射温度
- P131 板橋 秀一(九大院総理工) 化学輸送モデルCMAQを用いた沖縄県辺戸岬における越境大気汚染の解析—2008年春季のW-PASS集中観測をもとに—

大会第1日 [11月25日 (水)] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P132 川村 隼人 (新潟大院自然科学) 新潟市の気象データベース作成
- P133 朝倉 利員 (果樹研) 暖地におけるサクラの開花・休眠打破日の推移と開花に必要な冬季の気温条件
- P134 山崎 俊成 (山口大院農) 小・中学生を対象とした水防災教育に関する教材の高度化と実践・評価
- P135 西澤 誠也 (神戸大院理) GPGPU による β 平面2次元減衰性乱流実験
- P136 山本 博基 (京大院理) 回転流体における軸対称乱流プルームの合体に関する室内実験
- P137 板野 稔久 (防衛大地球海洋) 円形境界内の軸対称渦の特異値解析
- P138 工藤 玲 (気象研) 直達・散乱日射の地上観測からのエアロゾル光学特性の推定
- P139 熊岡 直紀 (東北大院理) CALIPSOデータを用いたエアロゾルマスクと消散係数の導出
- P140 原 由香里 (環境研) 地上/衛星搭載ライダーと化学物質輸送モデルにより示された東アジア域における球形エアロゾル分布の季節変動
- P141 佐竹 晋輔 (東北大院理) 日本上空のエアロゾル層鉛直分布の季節変化
- P142 高島 久洋 (JAMSTEC) MAX-DOAS法による船上観測: 海洋上におけるエアロゾル・NO₂ の変動
- P143 古賀 正憲 (九大院総理工) 航空機排出エアロゾルの気候への影響に関する研究
- P144 李 杰 (JAMSTEC) Role of regional anthropogenic emissions in the summer surface ozone maximum in the northeastern Tibetan Plateau-modeling studies
- P145 小林 ちあき (気象研) 北半球中緯度下部成層圏オゾントレンドにおける力学的要因の寄与
- P146 関谷 高志 (名大院環境) エルニーニョに伴う熱帯・亜熱帯対流圏オゾンの変動
- P147 詹 博硯 (名大院環境) 火山起源SO₂及びSO₄の輸送経路及び化学変化過程の再現
- P148 梅澤 拓 (東北大院理) 西太平洋下部/上部対流圏でのメタン濃度と炭素・水素安定同位体比の季節変動
- P149 衛藤 聡美 (奈良女子大) SCIAMACHYセンサが観測した大気中メタンデータの比較解析
- P150 永井 智広 (気象研) 二酸化炭素鉛直分布測定用1.6 μ m帯DIAL受信部の開発
- P151 川合 真一郎 (名大院環境) 陸域生物圏モデルBEAMSへの植生動態の組み込みによる炭素循環の将来予測
- P152 北 和之 (茨城大理) 黄海および東シナ海上空での一酸化炭素増大の航空機観測
- P153 田中 泰宙 (気象研) 鈦物ダストおよび黒色炭素エアロゾル沈着を考慮した雪氷面アルベド2層モデルの開発
- P154 渡辺 幸一 (富山県立大) 立山・美女平における硫酸エアロゾルの動態
- P155 蒲生 稔 (産総研) 中高緯度落葉樹林帯における葉のフェノロジーの水平・経年変化
- P156 佐藤 透 (熊大自然科学) 比抵抗探査法を用いた土壌水分分布の蒸発散過程による変化量の観測
- P157 東 邦昭 (京大生存基盤) 信楽MU観測所における大気境界層の特性
- P158 中川 清隆 (立正大地球環境科学) 弱風晴天日における日射, 気温, 海陸風の日変化位相差形成メカニズム
- P159 森谷 祐介 (京大生存研) レンジイメージング・ウィンドプロファイラーによる大気境界層の発達観測
- P160 秋本 祐子 (筑波大学院生命環境) 土地利用データと大気データの変更が領域気象モデルWRFに与えるインパクト
- P161 田上 浩孝 (環境研) 夏季の都市市街地で観測される温度分布とその要因—川崎市川崎区における観測とCFDによる検証—
- P162 青柳 曉典 (気象研) 人工排熱・建物構造・粗度長が都市域の地上気温に与える影響について -単層都市キャンパススキームを導入したNHMによる感度実験-

大会第1日 [11月25日 (水)] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P163 伊東 瑠衣 (同志社大院工) 大阪湾の改変が及ぼす阪神地域の気候への影響
- P164 栃本 英伍 (九大院理) 梅雨前線帯の低気圧の発達過程と環境場
- P165 平野 淳平 (首都大都市環境) 古日記天候記録にもとづく幕末期の冬の気候復元 - 暖冬傾向の1840年代後半~1850年代前半 -
- P166 梅村 界渡 (神戸大院人間発達環境) 確率微分方程式モデルを用いた古気候時系列データの解析
- P167 久保田 尚之 (JAMSTEC) 20世紀前半の西部北太平洋域の台風経路の復元
- P168 徳野 正己 (気象研) 台風再解析CI数と中心気圧及び最大風速の関係
- P169 奥 勇一郎 (京大防災研) 可能最大被害予測を目的とした渦位逆変換法による台風ボーガシング
- P170 吉野 純 (岐阜大院工) 台風渦位ボーガスによる台風初期値化と台風予測実験
- P171 重里 昌 (東京海上研究所) 低解像度平均場を用いた台風強度・頻度の推定方法の開発
- P172 久保 勇太郎 (九大院理) 季節内変動と台風発生の関係
- P173 吉田 龍二 (京大防災研) 東西風合流域パターンにおける熱帯低気圧発生の数値シミュレーションを用いた事例解析 (T0118・T0511)
- P174 吉田 康平 (北大院環境) 熱帯対流圏界面付近における準二年周期振動の構造
- P175 妻鹿 友昭 (京大生存研) 赤道大気レーダー・偏光ライダーによる雲底付近の鉛直流変動-CLEARキャンペーンにおける観測結果-
- P176 上米良 秀行 (JAMSTEC) 東南アジアの多地域に適用できるレーダー・雨量計データ統合技術の開発
- P177 安田 珠幾 (気象研) 大気海洋結合モデルによる季節予測実験におけるエルニーニョ現象後のインド洋海面水温の上昇
- P178 高橋 桂子 (JAMSTEC) MSSG-AとWAVEWATCHⅢの連成計算
- P179 小守 信正 (JAMSTEC) CFESによる高解像度大気海洋結合シミュレーション (IV)
- P180 酒井 久美 (富山大院理工) 自己組織化マップを用いた西太平洋~インド洋のENSOシグナルの抽出
- P181 陳 桂興 (東北大院理) Regional impacts of the diurnal monsoon variability on precipitation over southeastern China
- P182 山田 朋人 (北大) Diurnal Characteristics of Summertime Rainfall over North America in a Dynamically Downscaled Reanalysis Dataset (US10)
- P183 平形 麻紀 (東北大大学院理) ライダ搭載観測衛星CALIPSO による雲粒子タイプの全球季節変動解析
- P184 池田 正樹 (筑波大院生命環境) ブロッキング高気圧の発生位置とAOの関係
- P185 高橋 清利 (気象庁気候情報) 第2次気象庁長期再解析 (JRA-55)
- P186 野原 大輔 (電中研) 統計的ダウンスケーリング法を用いた季節予報 - 予報の検証とその応用 -
- P187 西森 基貴 (農環研) 再解析データを用いた統計的/力学的ダウンスケーリング結果の相互比較
- P188 飯泉 仁之直 (農環研) 3機関RCMと統計的ダウンスケーリングとの比較: 現在気候の月平均気温・月降水量
- P189 新藤 永樹 (気象研) NHM による台風アンサンブル実験と擬似温暖化実験
- P190 若月 泰孝 (JAMSTEC) 気候変化差分の年々変動を考慮した疑似温暖化境界場の作成手法
- P191 水田 亮 (AESTO) 高解像度大気モデルでの北半球冬季の低気圧活動の将来変化 (その2)
- P192 長谷川 聡 (環境研) CMIP3気候モデルによるSRES実験を用いたパターンスケーリング
- P193 出牛 真 (気象研) 21世紀予測実験に基づいた成層圏における物質輸送特性の長期変動解析
- P194 石原 幸司 (気象研) 地球温暖化に伴う気温変化の正規性を利用した都道府県別評価

大会第3日 [11月27日 (金)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 山本 晴彦 (山口大農) 2009年7月21日に発生した山口豪雨の特徴と水災害の概要
- P302 佐々 浩司 (高知大理) 四国における線状降水帯の分布
- P303 岡本 宏樹 (名大地球水循環) 北陸地方西部沿岸に発生する停滞性線状降雪帯の形成要因
- P304 橋口 太郎 (首都大システムデザイン研究科) ドップラーライダーによる清川ダシ観測・解析と数値モデルとの比較
- P305 河合 克仁 (防衛大地球海洋) 庄内平野における降雪雲に伴うガストの特徴—環境場の考察—
- P306 関 佐和香 (筑波大計算科学) 2009年夏季に大西洋熱帯域で発生した航空機乱気流遭遇事故の気象学的解析
- P307 小笠原 拓也 (気象協会) 2009年7月27日竜巻発生時における館林市街地の気温・湿度変化
- P308 根平 嶺央 (高知大院) 四国中央部における夏季雷雲と落雷の関係
- P309 Dim Jules Rostand (JAXA/EORC) Strategy for Long-term Analysis of Global Cloud Trends from Satellite Observations
- P310 佐藤 可織 (JAXA/EORC) 衛星搭載雲レーダ/ライダー複合利用による雲プロダクト用アルゴリズムの開発
- P311 徳野 正己 (気象研) MTSAT-1Rによる火災域及び火災温度の推定
- P312 佐川 正人 (釧路高専) 霧出現時の視程計による視程と画像判定による視程との関係
- P313 脇阪 洋平 (京大生存研) GNU Radioを用いたウィンドプロファイラー用デジタル受信機の開発
- P314 中川 勝彦 (NICT) GPM (全球降水観測計画)/DPR (二周波降水レーダ) 軌道上校正方法の検討
- P315 足立 アホロ (気象研) 雲・降水レーダーシミュレーターの開発 (NHM データへの応用)
- P316 前坂 剛 (防災科研) メタルスペースフレーム型レドームがMPレーダ観測に与える影響について
- P317 古本 淳一 (京大生存研) 400MHz帯WPR・RASSによる亜熱帯域気温連続観測の精度検証
- P318 古澤 文江 (名大地球水循環) TRMM衛星搭載降雨レーダPRの観測から解かる激変する長江流域の降水の変化
- P319 額 大晴 (名大地球水循環) マルチパラメータレーダーを用いた雷雲の粒子判別
- P320 濱田 篤 (地球研) 高密度雨量計ネットワークに基づく日降水量グリッドデータの精度評価
- P321 青木 篤史 (北大院地球環境) 雨縞の研究 (1) —最大粒径に着目して—
- P322 石元 裕史 (気象研) 2DPデータを用いた雪片形状の推定
- P323 Roh Woosub (東大気候システム) Evaluation of cirrus properties of cloud-resolving model simulations using CALIPSO/CloudSat over the tropical open ocean
- P324 篠田 太郎 (名大地球水循環) 地上観測データを用いた雲解像モデルCRESSにおける雪と霰の割合の検証
- P325 本吉 弘岐 (防災科研) 吹雪予測モデルのための気象数値予測における粗度と風速について
- P326 寺崎 康児 (筑波大計算科学) スペクトル空間で見る次世代大気モデルNICAMの特徴
- P327 瀬古 弘 (気象研) 観測システムシミュレーション実験でみたCOSMICの横掩蔽観測のインパクト
- P328 岡本 幸三 (気象庁数値予報) ハイパースペクトル赤外サウンダの輝度温度の同化 (3) -Aqua/AIRSとMetop/IASIの同化-
- P329 青柳 暁典 (気象研) 格子状ブロック群の実効アルベド/実効射出率を考慮した放射平衡温度
- P330 藤田 慎一 (電中研) 代理表面法を用いたオゾンの乾性沈着フラックスの日変化の測定
- P331 中里 真久 (気象研) 天頂観測用Xバンドレーダー及びFMCW型Kaバンドレーダーによるシーディング有効雲の観測

大会第3日 [11月27日 (金)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P332 折笠 成宏 (気象研) ドライアイスシーディングに伴う山岳性降雪雲の微物理構造の変化 (その2)
- P333 橋本 明弘 (気象研) 航空機による雲シーディング実験の高解像度数値シミュレーション
- P334 脊戸 仁一郎 (防大地球) 2006年2月4日における人工降雨実験の事例解析
- P335 西山 浩司 (九大院工) 2008年1月17日佐世保人工降雨実験を対象にした氷晶軌跡の推定
- P336 脇水 健次 (九大院農) 2009年1月24日に山口県長門市沖で実施した液体炭酸を用いた人工降雨実験
- P337 増田 一彦 (気象研) ボロノイ型氷晶粒子の散乱分布関数
- P338 深堀 正志 (気象大) 分光放射計を用いた可降水量の推定
- P339 真野 裕三 (気象研) 高波数分解能の衛星サウンダーにおける透過率のチャンネル間相関
- P340 山崎 明宏 (気象研) 福岡での2009年春季エアロゾル光学特性集中観測期間中の炭素成分分析結果
- P341 弓本 桂也 (九大応力研) タクラマカン砂漠起源ダストの大陸間輸送: CALIPSOと数値モデルを組み合わせた3次元解析
- P342 原 圭一郎 (福岡大理) 南極下層対流圏のエアロゾル鉛直分布とその季節変化
- P343 三浦 和彦 (東京理科大) 日本各地で測定したサブミクロン粒子の粒径分布 (2)
- P344 直江 寛明 (気象研) 生成された海塩エアロゾルのアルカリが消失する時間
- P345 山地 一代 (JAMSTEC) 領域物質輸送モデルを用いたCentral East China域における大気汚染物質の変動解析
- P346 中谷 彩 (奈良女大院人間文化) 衛星で観測された対流圏オゾン気柱量の変動解析
- P347 杉田 考史 (環境研) 硝酸塩素の変化からみた硝酸三水和物による異相反応速度
- P348 槇山 恵子 (名大院環境) CALIPSOで観測された北極PSC
- P349 八代 尚 (JAMSTEC) 全球大気化学輸送モデルを用いた対流圏水素濃度の再現実験
- P350 寺尾 有希夫 (環境研) 西太平洋における大気メタン濃度のトレンドと年々変動
- P351 清水 厚 (環境研) 日本国内における黄砂重量濃度とライダー観測による消散係数との関係
- P352 眞木 貴史 (気象研) オンライン輸送モデルの開発と航空機観測データ等による検証について
- P353 高瀬 健太郎 (名大院環境) バイオマスバーニングが対流圏COの全球分布へ与える影響に関する解析
- P354 朽木 勝幸 (気象研) 積雪不純物濃度測定における濾過フィルターの違い
- P355 渡辺 幸一 (富山県立大) 富山県における露水および大気中の過酸化物質濃度の測定
- P356 萩野谷 成徳 (気象研) チベット高原ナム湖における熱・水循環過程の研究
- P357 石田 祐宣 (弘前大院理工) 植生上粗度層内で観測された顕熱フラックスの考察
- P358 秋本 祐子 (筑波大学院生命環境) 日本で発生する霧の気候学的研究
- P359 瀬戸 芳一 (首都大院都市環境) 対数則により補正した観測風を用いた関東平野における夏季の収束・発散場
- P360 根本 由紀子 (気象予報士会) 東京における冬季の気温と降水量の関係-2
- P361 大塚 清敏 (大林組技研) 小型ドップラーライダーによる東京都東部における境界層の風観測
- P362 小野 恭平 (九大院総理工) 人工排熱を用いた都市熱環境の再現
- P363 中川 清隆 (立正大地球環境科学) 埼玉県熊谷市の夜間都市ヒートアイランド強度と郊外接地逆転強度の関係
- P364 小柴 美香 (東北大院理) 日本付近において急激に発達する温帯低気圧に関する長期解析 ~春季および秋季における発達要因の考察~

大会第3日 [11月27日 (金)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P365 早崎 将光 (千葉大CEReS) 日本付近における春季の低気圧活動の年々変動
- P366 石崎 紀子 (気象研) 観測データの気候学的な地点代表性について
- P367 遠藤 洋和 (気象研) 過去100年の日降水量データによる梅雨の季節進行の長期変化
- P368 遠藤 伸彦 (JAMSTEC) 東南アジア地域における降水極値の長期変化傾向
- P369 北畠 尚子 (気象研) 等渦位面解析の台風への利用
- P370 藤田 実季子 (JAMSTEC) 台風0806号 (Fengshen)発生期における海面熱フラックスの効果
- P371 加藤 雅也 (名大水循環) 雲解像モデルを用いた現在気候と将来気候における台風の比較
- P372 藤木 孝則 (弘前大院理工) 北西太平洋北緯25度以北でSubtropical Stageから発達するTropical Cycloneの発生時の特徴
- P373 福富 慶樹 (JAMSTEC) 北半球冬季インド洋上における南西進する熱帯波動擾乱の構造と性質
- P374 西 憲敬 (京大院理) 熱帯雲システムの乱層雲内上昇流に関する数値実験 (序報)
- P375 上本 智也 (名大院環境) 熱帯圏上部対流圏における雲の微物理特性
- P376 間瀬 博文 (所属なし) マッデン・ジュリアン振動の東進メカニズムの解明へ
- P377 高橋 清利 (気象庁気候情報) 気象庁1か月アンサンブル予報モデルにおけるMJOに関連する潜熱加熱率のTRMM 潜熱加熱率データを用いた検証 ~2006年12月の事例から~
- P378 本多 祐美子 (奈良女子大理) 衛星観測による東南アジアにおけるバイオマスバーニングの研究 2. バイオマスバーニングに伴って発生する物質とエアロゾルの種類
- P379 一柳 錦平 (熊大自然科学) 水蒸気の起源解析によるインドシナ半島の夏季モンスーンの定義
- P380 大庭 雅道 (電中研) CMIP3 マルチ気候モデルにおけるENSOの遷移の非対称性とその気候場・太平洋十年変動の関係
- P381 五十嵐 弘道 (JAMSTEC) 4D-VAR海洋再解析を用いたPDOの統計予測
- P382 竹内 茜 (筑波大院生命環境) 北太平洋高気圧の季節変化と発達要因
- P383 黒崎 泰典 (鳥大乾地研) マンダラゴビにおける風送ダスト発生の長期変動とその要因
- P384 紺屋 恵子 (JAMSTEC) モンゴル西部・Potanin氷河周辺の長期変動と質量収支への影響
- P385 長谷川 怜 (東北大院理) 冬期北半球における定常波動エネルギーと平均子午面循環の関係
- P386 大橋 正宏 (筑波大院生命環境) 北極域の温暖化パターンの解析的研究
- P387 川上 瑠菜 (九大院理) 南半球における独立成分の抽出
- P388 井上 豊志郎 (東大気候システム) 雲システム解像モデルと衛星で観測されたアフリカ南部における深い対流雲の日変化
- P389 宇田川 佑介 (北大院環境) 南半球中高緯度における大気大循環場はなぜシフトするのか?
- P390 中田 淳子 (京大防災研) 20km解像度地域気候モデル出力のバイアス補正に関する研究
- P391 中野 満寿男 (AESTO) 領域気候実験におけるSBC法の台風強度予測への影響
- P392 荒川 理 (気象研) 高解像度気候モデルにおいて再現された夏期アジアモンスーン域における降水と標高の関係の将来変化
- P393 野原 大輔 (電中研) オーバーシュートシナリオに見られる気候変化 -北半球冬季の低気圧活動の特徴-
- P394 石原 幸司 (気象研) CMIP3マルチ気候モデルにおける全球平均および帯状平均気温の再現性評価
- P395 松枝 未遠 (AESTO/MRI) 南半球ブロッキング現象の将来変化

講演者索引

< A >

Adachi Ahoro (足立 了和)	P315
Akimoto Yuko (秋本 祐子)	P160
Akimoto Yuko (秋本 祐子)	P358
Akita Manabu (秋田 学)	B366
Akiyoshi Hideharu (秋吉 英治)	A212
Aoki Atsushi (青木 篤史)	P321
Aoki Kazuma (青木 一真)	C208
Aoki Teruo (青木 輝夫)	C214
Aonashi Kazumasa (青梨 和正)	D156
Aonashi Kazumasa (青梨 和正)	D362
Aoyagi Toshinori (青柳 曉典)	P162
Aoyagi Toshinori (青柳 曉典)	P329
Arai Ken-ichiro (新井 健一郎)	B356
Arakawa Osamu (荒川 理)	P392
Arakawa Tomoko (荒川 知子)	A305
Asai Tomoaki (浅井 丈昭)	D112
Asakura Toshikazu (朝倉 利貞)	P133
Asuma Yoshio (遊馬 芳雄)	A151

< B >

Baba Kenji (馬場 賢治)	A307
Baba Kenji (馬場 賢治)	B205
Bessho Kotaro (別所 康太郎)	B359
Bessho Kotaro (別所 康太郎)	C163

< C >

Chen Guixing (陳 桂興)	P181
Chen Ying-wen	A206
Chikamoto Yoshimitsu (近本 喜光)	D107

< D >

Daimon Yoshihiro (大門 禎広)	P130
Deushi Makoto (出生 真)	P193
Dim Jules Rostand	P309

< E >

Eguchi Kenta (江口 健太)	C206
Eguchi Nawo (江口 菜穂)	A204
Eguchi Nawo (江口 菜穂)	B103
Eito Hisaki (永戸 久喜)	D211
Emori Seita (江守 正多)	B166
Endo Hirokazu (遠藤 洋和)	A364
Endo Hirokazu (遠藤 洋和)	P367
Endo Nobuhiko (遠藤 伸彦)	P368
Enomoto Hiroyuki (榎本 浩之)	A108
Enomoto Takeshi (榎本 剛)	D163
Eto Satomi (衛藤 聡美)	P149

< F >

Fujibe Fumiaki (藤部 文昭)	B214
Fujiki Takanori (藤木 孝則)	P372
Fujita Mikiko (藤田 実季子)	P370
Fujita Shin-ichi (藤田 慎一)	P330
Fukabori Masashi (深堀 正志)	P338
Fukao Shoichiro (深尾 昌一郎)	D215
Fukutomi Yoshiki (福富 慶樹)	P373
Furumoto Jun-ichi (古本 淳一)	P317
Furuzawa Fumie (古澤 文江)	D370
Furuzawa Fumie (古澤 文江)	P318

< G >

Gamo Minoru (蒲生 稔)	P155
Geng Biao (耿 驪)	C360

< H >

Hagihara Yuichiro (萩原 雄一朗)	D367
Haginoya Shigenori (萩野谷 成徳)	P356
Hamada Atsushi (濱田 篤)	D368
Hamada Atsushi (濱田 篤)	P320
Hamada Junichi (浜田 純一)	B203
Hanafusa Tatsuo (花房 龍男)	D352
Hara Keiichiro (原 圭一郎)	A109
Hara Keiichiro (原 圭一郎)	P342
Hara Masahiro (原 昌弘)	D160
Hara Yukari (原 由香里)	P140
Hasegawa Akira (長谷川 聡)	P192
Hasegawa Satoshi (長谷川 怜)	P385
Hashida Gen (橋田 元)	A161
Hashiguchi Taichiro (橋口 太一郎)	P304
Hashimoto Akihito (橋本 明弘)	P333
Hashimoto George (はしもと じょーじ)	C310
Hayasaka Tadahiro (早坂 忠裕)	B202
Hayasaka Tadahiro (早坂 忠裕)	P110
Hayasaki Masamitsu (早崎 将光)	P365
Hayashi Taiichi (林 泰一)	C351
Hayasi Syugo (林 修吾)	D167
Hayashi Yoji (林 洋司)	D355
Higashi Kuniaki (東 邦昭)	P157
Higuchi Hirotaka (樋口 博隆)	C365
Hinokio Moriaki (檜尾 守昭)	D105
Hirahara Jun (平原 淳)	B364
Hirakata Maki (平形 麻紀)	P183
Hiramatsu Akio (平松 章男)	A310
Hirano Junpei (平野 淳平)	P165
Hirasawa Naohiko (平沢 尚彦)	A111
Hiratsuka Izumi (平塚 いづみ)	P106
Hirokawa Yasutaka (廣川 康隆)	B308
Hirose Hitoshi (広瀬 民志)	B152
Hirota Nagio (廣田 渚郎)	A354
Honda Yumiko (本多 祐美子)	P378
Hori Masatake (堀 正岳)	A159
Horinouchi Takeshi (堀之内 武)	B153
Horiuchi Yoshiyuki (堀内 祥之)	P102
Hoshino Shunsuke (星野 俊介)	C164
Hotta Daisuke (堀田 大介)	D165

< I >

Ichikawa Hiroki (市川 裕樹)	A353
Ichikawa Kohei (一川 孝平)	P108
Ichimaru Tomoko (一丸 知子)	A202
Ichiyonagi Kimpei (一柳 錦平)	P379
Iga Keita (伊賀 啓太)	C104
Igarashi Hiromichi (五十嵐 弘道)	P381
Iida Erina (飯田 絵里菜)	D214
Iijima Yoshihiro (飯島 慈裕)	A157
Iizumi Toshichika (飯泉 仁之直)	P188
Ikazaki Hideo (伊ヶ崎 英雄)	D202
Ikeda Kohei (池田 恒平)	C303
Ikeda Masaki (池田 正樹)	P184
Imasu Ryoichi (今須 良一)	B105
Inatsu Masaru (稲津 将)	B157

Inoue Hanako (猪上 華子)	B352
Inoue Jun (猪上 淳)	A160
Inoue Makoto (井上 誠)	A207
Inoue Tomoshige (井上 知榮)	A362
Inoue Toshiro (井上 豊志郎)	P388
Inoue Yoko (井上 陽子)	D360
Irie Hitoshi (入江 仁士)	D364
Ishida Haruma (石田 春磨)	B108
Ishida Junichi (石田 純一)	D162
Ishida Sachinobu (石田 祐宣)	P357
Ishihara Koji (石原 幸司)	P194
Ishihara Koji (石原 幸司)	P394
Ishii Shoken (石井 昌憲)	D353
Ishimoto Hiroshi (石元 裕史)	P116
Ishimoto Hiroshi (石元 裕史)	P322
Ishiwatari Masaki (石渡 正樹)	C308
Ishizaka Masaaki (石坂 雅昭)	D210
Ishizaki Noriko (石崎 紀子)	P366
Isoyuchi Osamu (磯口 治)	D309
Itahashi Syuichi (板橋 秀一)	P131
Itano Toshihisa (板野 稔久)	P137
Ito Junshi (伊藤 純至)	D301
Ito Rui (伊東 瑠衣)	P163
Iwai Hironori (岩井 宏徳)	D357
Iwaki Maho (岩木 真穂)	B215
Iwamoto Katsushi (岩本 勉之)	B209
Iwane Masayuki (岩根 賢幸)	B313
Iwane Masayuki (岩根 賢幸)	P107
Iwasaki Hiroyuki (岩崎 博之)	B212
Iwasaki Suginori (岩崎 杉紀)	D216
Iwasaki Suginori (岩崎 杉紀)	P113
Iwayama Takahiro (岩山 隆寛)	C101

< J >

Juri Akira (重里 昌)	P171
-------------------	------

< K >

Kajino Mizuo (梶野 瑞王)	C205
Kamahori Hirotaka (釜堀 弘隆)	C152
Kameda Takao (亀田 貴雄)	A102
Kameda Takao (亀田 貴雄)	C216
Kamiguchi Kenji (上口 賢治)	B207
Kamimera Hideyuki (上米良 秀行)	P176
Kamisho Takuya (上庄 拓哉)	P103
Kanada Sachie (金田 幸恵)	B169
Kang Ahrum (康 アルム)	C353
Kato Kuranoshin (加藤 内蔵進)	A306
Kato Kuranoshin (加藤 内蔵進)	B211
Kato Masaya (加藤 雅也)	P371
Kato Ryohei (加藤 亮平)	C306
Kato Teruyuki (加藤 輝之)	B307
Kato Teruyuki (加藤 輝之)	D101
Katsumata Masaki (勝俣 昌己)	C359
Kawabata Takuya (川畑 拓矢)	B302
Kawabata Takuya (川畑 拓矢)	C154
Kawai Katsuhito (河合 克仁)	P305
Kawai Shinichiro (川合 真一郎)	P151
Kawai Yoshimi (川合 義美)	D113
Kawakami Luna (川上 瑠菜)	P387
Kawamoto Kazuaki (河本 和明)	B206
Kawamura Hayato (川村 隼人)	P132

- Kawamura Seiji (川村 誠治) P115
 Kawase Hiroaki (川瀬 宏明) B165
 Kawatani Yoshio (河谷 芳雄) A361
 Khatri Pradep C211
 Kiguchi Masashi (木口 雅司) C354
 Kikuchi Nobuyuki (菊地 信行) B107
 Kikuchi Takashi (菊地 隆) A158
 Kim Heon-sook (金 憲淑) B109
 Kinoshita Masashi (木下 仁) D106
 Kinoshita Takenari (木下 武也) A205
 Kita Kazuyuki (北 和之) P152
 Kitabatake Naoko (北畠 尚子) P369
 Kobayashi Chiaki (小林 ちあき) P145
 Kobayashi Takahisa (小林 隆久) D213
 Kobayashi Takahisa (小林 隆久) P117
 Kodama Yasu-masa (児玉 安正) P105
 Koderu Kunihiro (小寺 邦彦) A203
 Koga Masanori (古賀 正憲) P143
 Koike Katsuyuki (小池 克征) D203
 Komori Nobumasa (小守 信正) P179
 Kondo Hiroaki (近藤 裕昭) D307
 Kondo Yutaka (近藤 豊) A107
 Konishi Tatsuo (小西 達男) C155
 Konya Keiko (紺屋 恵子) P384
 Koshiba Mika (小柴 美香) P364
 Kouketsu Takeharu (纈纈 丈晴) P319
 Kubo Yutaro (久保 勇太郎) P172
 Kubokawa Hiroyasu (久保川 陽呂鎮) C367
 Kubota Hisayuki (久保田 尚之) C363
 Kubota Hisayuki (久保田 尚之) P167
 Kubota Takuji (久保田 拓志) D212
 Kuchiki Katsuyuki (朽木 勝幸) P354
 Kudo Rei (工藤 玲) P138
 Kuji Makoto (久慈 誠) D361
 Kumaoka Naoki (熊岡 直紀) P139
 Kunii Masaru (国井 勝) D159
 Kurita Naoyuki (栗田 直幸) A156
 Kuroda Takeshi (黒田 剛史) C301
 Kuroda Takeshi (黒田 剛史) C302
 Kuroda Tooru (黒田 徹) D153
 Kuroda Yuhji (黒田 友二) A201
 Kurosaki Yasunori (黒崎 泰典) P383
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) B354
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) B355
 Kuwano-yoshida Akira (吉田 聡) D108
 Kuze Akihiko (久世 暁彦) B101
- < L >
 Li Jie (李 杰) P144
- < M >
 Mabuchi Kazuo (馬淵 和雄) B164
 Maejima Yasumitsu (前島 康光) D164
 Maesaka Takeshi (前坂 剛) P316
 Maki Takashi (真木 貴史) P352
 Makiyama Keiko (槇山 恵子) P348
 Mano Yuzo (真野 裕三) P339
 Mase Hirofumi (間瀬 博文) P376
 Mashiko Wataru (益子 渉) B312
 Masuda Kazuhiko (増田 一彦) P337
 Masuko Tomonori (増子 友紀) C110
 Matsueda Mio (松枝 未遼) P395
 Matsumoto Masafumi (松本 全史) B311
 Matsumoto Tsumoru (松本 積) A301
- Matsushima Kazuhiro (松島 和宏) C111
 Mega Tomoaki (妻鹿 友昭) P175
 Michimoto Koichiro (道本 光一郎) B363
 Mimura Kazuo (三村 和男) C109
 Misumi Ryohei (三隅 良平) D209
 Miura Kazuhiko (三浦 和彦) P343
 Miyamoto Yoshiaki (宮本 佳明) C161
 Miyazaki Kazuyuki (宮崎 和幸) A210
 Mizuta Ryo (水田 亮) P191
 Mori Masato (森 正人) C368
 Mori Shuichi (森 修一) C357
 Moritani Yusuke (森谷 祐介) P159
 Moteki Qoosaku (茂木 耕作) D155
 Motoyoshi Hiroki (本吉 弘岐) P325
 Murakami Hideyo (村上 英世) B159
 Murakami Hiroyuki (村上 裕之) B168
 Murakami Masataka (村上 正隆) D201
 Murakami Shigenori (村上 茂教) B158
 Murata Fumie (村田 文絵) C352
 Murata Fumie (村田 文絵) P123
 Murayama Toshiyuki (村山 利幸) D365
- < N >
 Nagahama Yoshihiro (長浜 芳寛) A213
 Nagai Tomohiro (永井 智広) P150
 Nagasawa Chikao (長澤 親生) D354
 Nagasawa Ryoji (長澤 亮二) D166
 Nagashima Tatsuya (永島 達也) C204
 Nagoshi Toshiyuki (名越 利幸) A308
 Nakagawa Katsuhiko (中川 勝広) P314
 Nakagawa Kiyotaka (中川 清隆) P158
 Nakagawa Kiyotaka (中川 清隆) P363
 Nakai Sento (中井 専人) P126
 Nakajima Hideaki (中島 英彰) A104
 Nakajima Takashi (中島 孝) D369
 Nakamura Kozo (中村 晃三) C107
 Nakamura Kozo (中村 晃三) D208
 Nakamura Masaomi (中村 誠臣) P127
 Nakamura Miki (中村 美紀) D310
 Nakamura Yoshitaka (中村 佳敬) B367
 Nakano Masuo (中野 満寿男) P391
 Nakata Junko (中田 淳子) P390
 Nakatani Aya (中谷 彩) P346
 Nakayama Hideaki (中山 秀晃) A309
 Nakazato Masahisa (中里 真久) B353
 Nakazato Masahisa (中里 真久) P331
 Nakazawa Tetsuo (中澤 哲夫) B208
 Nakazawa Tetsuo (中澤 哲夫) C151
 Naoe Hiroaki (直江 寛明) P344
 Nasuno Tomoe (那須野 智江) C366
 Nehira Leo (根平 嶺央) P308
 Nemoto Yukiko (根本 由紀子) P360
 Ninomiya Kozo (二宮 洗三) A360
 Ninomiya Kozo (二宮 洗三) B310
 Nishi Noriyuki (西 憲敬) P374
 Nishihashi Masahide (西橋 政秀) B362
 Nishii Kazuaki (西井 和晃) A351
 Nishimori Motoki (西森 基貴) P187
 Nishiyama Koji (西山 浩司) P335
 Nishizawa Seiya (西澤 誠也) P135
 Niwano Masashi (庭野 匡思) C215
 Noda Akira (野田 彰) C103
 Nohara Daisuke (野原 大輔) P186
 Nohara Daisuke (野原 大輔) P393
- < O >
 Obata Atsushi (小畑 淳) C202
 Oda Ryoko (小田 僚子) D308
 Ogasawara Takuya (小笠原 拓也) P307
 Ogawa Fumiaki (小川 史明) D110
 Ogi Masayo (小木 雅世) A155
 Ohashi Masahiro (大橋 正宏) P386
 Ohba Masamichi (大庭 雅道) P380
 Oh'izumi Mitsuo (大泉 三津夫) B170
 Ohno Yuicchi (大野 裕一) D366
 Ohta Yoichiro (太田 洋一郎) C166
 Ohtake Hideaki (大竹 秀明) D103
 Ohtake Hideaki (大竹 秀明) D204
 Ohya Manami (大矢 麻奈未) A106
 O'ishi Ryouta (大石 龍太) B162
 Okamoto Hajime (岡本 創) B151
 Okamoto Hiroki (岡本 宏樹) P303
 Okamoto Kozo (岡本 幸三) P328
 Okochi Yasumasa (大河内 康正) B213
 Oku Yuichiro (奥 勇一郎) P169
 Onishi Masanori (大西 将徳) D311
 Ono Kyouhei (小野 恭平) P362
 Onogi Shigeru (小野木 茂) D356
 Origuchi Seiji (折口 征二) D104
 Orikasa Narihiro (折笠 成宏) P332
 Ose Tomoaki (尾瀬 智昭) A366
 Otsuka Kiyotoshi (大塚 清敏) B360
 Otsuka Kiyotoshi (大塚 清敏) P361
- < R >
 Roh Woosub P323
 Roquelaure Stevie C369
- < S >
 Saeki Kosuke (佐伯 浩介) A105
 Sagawa Masato (佐川 正人) P312
 Saigusa Nobuko (三枝 信子) C201
 Saito Atsushi (齋藤 篤思) P124
 Saito Kazuo (斎藤 和雄) D161
 Saito Naoki (齋藤 直彬) C106
 Saitoh Naoko (齋藤 尚子) B106
 Saji Kensuke (佐治 憲介) A208
 Sakai Kumi (酒井 久美) P180
 Sakai Satoshi (酒井 敏) D312
 Sakai Tetsu (酒井 哲) C212
 Sakai Tsuyoshi (境 剛志) P129
 Sakurai Namiko (櫻井 南海子) P111
 Sano Tetsuya (佐野 哲也) D358
 Sassa Koji (佐々 浩司) P302
 Satake Shinsuke (佐竹 晋輔) P141
 Sato Kaori (佐藤 可織) P310
 Sato Kaoru (佐藤 薫) A162
 Sato Naoki (佐藤 尚毅) A358
 Sato Naoki (佐藤 尚毅) B155
 Sato Tomonori (佐藤 友徳) B201
 Sato Toru (佐藤 透) P156
 Sato Yousuke (佐藤 陽祐) P125
 Satoh Shinsuke (佐藤 晋介) D102
 Sawada Ken (澤田 謙) D157
 Sawada Ken (澤田 謙) D158
 Sawada Masahiro (沢田 雅洋) C157
 Seiki Ayako (清水 亜矢子) C362
 Seino Naoko (清野 直子) B301
 Seki Sawaka (関 佐和香) P306

- Seki Takanori (関 隆則) A304
 Seki Takanori (関 隆則) P101
 Sekine Yasuhito (関根 康人) C309
 Sekiya Takashi (関谷 高志) P146
 Sekizawa Shinya (関澤 信也) P118
 Seko Hiromu (瀬古 弘) P128
 Seko Hiromu (瀬古 弘) P327
 Sen Hakuken (齋 博視) P147
 Seto Jinichiro (脊戸 仁一郎) P334
 Seto Yoshihito (瀬戸 芳一) P359
 Shibata Kiyotaka (柴田 清孝) A357
 Shigeta Yoshinori (重田 祥範) D306
 Shimazaki Keiko (島崎 景子) C108
 Shimizu Atsushi (清水 厚) P351
 Shimizu Shingo (清水 慎吾) D151
 Shimose Ken-ichi (下瀬 健一) B357
 Shimose Ken-ichi (下瀬 健一) B358
 Shindo Eiki (新藤 永樹) C153
 Shindo Eiki (新藤 永樹) P189
 Shinoda Taro (篠田 太郎) P324
 Shiraishi Kouichi (白石 浩一) P114
 Shiraishi Syouji (白石 晶二) A303
 Shiraishi Syouji (白石 晶二) B361
 Shoji Yoshinori (小司 禎教) D154
 Strassmann Kuno P161
 Sudo Kengo (須藤 健悟) C203
 Sueyoshi Masakazu (末吉 雅和) A356
 Sueyoshi Masakazu (末吉 雅和) C102
 Suga Tomoya (須賀 友也) C364
 Sugata Seiji (菅田 誠治) A211
 Sugi Masato (杉 正人) B167
 Sugita Takafumi (杉田 考史) P347
 Sugitani Shigeo (杉谷 茂夫) D359
 Sugiura Konosuke (杉浦 幸之助) P121
 Sumida Katsumasa (隅田 勝将) C105
 Suzuki Kazue (鈴木 香寿恵) A110
 Suzuki Kenji (鈴木 賢士) D207
 Suzuki Shin-ichi (鈴木 真一) B351
- < T >
 Tabata Yoshikazu (田畑 悦和) C356
 Tachiiri Kaoru (立入 郁) B163
 Tagami Hirotaka (田上 浩孝) P161
 Taguchi Bunmei (田口 文明) D109
 Tajiri Takuya (田尻 拓也) D206
 Takagi Masahiro (高木 征弘) C304
 Takahashi Chiharu (高橋 千陽) A365
 Takahashi Hideo (高橋 日出男) B303
 Takahashi Keiko (高橋 桂子) P178
 Takahashi Kiyotoshi (高橋 清利) P185
 Takahashi Kiyotoshi (高橋 清利) P377
 Takahashi Shinji (高橋 真司) A152
 Takahashi Yoshiyuki (高橋 芳幸) C307
 Takamura Tamio (高村 民雄) C209
 Takase Kentaro (高瀬 健太郎) P353
 Takashima Hisahiro (高島 久洋) P142
 Takemi Tetsuya (竹見 哲也) D305
 Takemura Kazuto (竹村 和人) C112
 Takeuchi Akane (竹内 茜) P382
 Tanaka Hiroshi (田中 博) A153
 Tanaka Taichu (田中 泰宙) P153
 Tanaka Yoshimasa (田中 良昌) A164
 Taniguchi Hiroshi (谷口 博) C167
 Tanimoto Youichi (谷本 陽一) A363
- Tanoue Masahiro (田上 雅浩) P122
 Tatara Hideyo (多々良 秀世) A302
 Tatsumi Kenichi (辰己 賢一) D168
 Tatsuyama Yasuaki (龍山 康朗) A101
 Terao Toru (寺尾 徹) C355
 Terao Yukio (寺尾 有希夫) P350
 Terasaki Koji (寺崎 康児) P326
 Tobo Yutaka (當房 豊) C213
 Tochimoto Eigo (栃本 英伍) P164
 Tokuno Masami (徳野 正己) P168
 Tokuno Masami (徳野 正己) P311
 Tomikawa Yoshihiro (富川 喜弘) A163
 Tsuboki Kazuhisa (坪木 和久) C168
 Tsuchiya Takumi (土屋 拓視) P112
 Tsuguti Hiroshige (津口 裕茂) B306
 Tsunematsu Nobumitsu (常松 展充) C207
 Tsurushima Daiki (鶴島 大樹) P109
 Tsuruta Haruo (鶴田 治雄) C210
 Tsutsui Junichi (筒井 純一) B160
- < U >
 Uchino Osamu (内野 修) B104
 Udagawa Yusuke (宇田川 佑介) P389
 Uekiyo Naotaka (上清 直隆) D363
 Uemoto Tomoya (上本 智也) P375
 Ueno Mitsuru (上野 充) C156
 Umemura Kaito (梅村 界渡) P166
 Umezawa Taku (梅澤 拓) P148
 Ushiyama Tomoki (牛山 朋来) D303
- < W >
 Wada Akiyoshi (和田 章義) C162
 Wada Hanayo (和田 華代) P120
 Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝) B216
 Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝) P190
 Wakimizu Kenji (脇水 健次) P336
 Wakisaka Youhei (脇阪 洋平) P313
 Watanabe Akira (渡邊 明) D304
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) P154
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) P355
 Watanabe Masahiro (渡部 雅浩) B154
 Watarai Yasushi (渡来 靖) P104
 Wu Peiming (伍 培明) C361
- < X >
 Xu Jianqing (徐 健青) B210
- < Y >
 Yamada Hiroyuki (山田 広幸) C158
 Yamada Tomohito (山田 朋人) P182
 Yamaguchi Haruki (山口 春季) D302
 Yamaguchi Kosei (山口 弘誠) D152
 Yamaji Kazuyo (山地 一代) P345
 Yamamoto Haruhiko (山本 晴彦) B309
 Yamamoto Haruhiko (山本 晴彦) P301
 Yamamoto Hiroki (山本 博基) P136
 Yamamoto Masaru (山本 勝) C305
 Yamamoto Masaru (山本 勝) D111
 Yamamoto Munehisa (山本 宗尚) P119
 Yamanouchi Akiko (山内 明子) D114
 Yamanouchi Takashi (山内 恭) A103
 Yamasaki Masanori (山岬 正紀) C159
 Yamasaki Toshiaki (山崎 俊成) P134
 Yamashita Katsuya (山下 克也) D205
 Yamashita Koji (山下 浩史) C165
 Yamashita Yousuke (山下 陽介) A209
 Yamauchi Hiroshi (山内 洋) D351
 Yamazaki Akihiro (山崎 明宏) P340
 Yamazaki Koji (山崎 孝治) A154
 Yashiro Hisashi (八代 尚) P349
 Yasuda Tamaki (安田 珠幾) A355
 Yasuda Tamaki (安田 珠幾) P177
 Yasutomi Natsuko (安富 奈津子) A359
 Yatagai Akiyo (谷田貝 亜紀代) B204
 Yohgai Toshiroh (用貝 敏郎) B304
 Yohgai Toshiroh (用貝 敏郎) B305
 Yokoi Satoru (横井 覚) A352
 Yoneyama Kunio (米山 邦夫) C358
 Yoshida Kohci (吉田 康平) P174
 Yoshida Ryuji (吉田 龍二) P173
 Yoshida Yukio (吉田 幸生) B102
 Yoshikawa Eiichi (吉川 栄一) B365
 Yoshino Jun (吉野 純) C169
 Yoshino Jun (吉野 純) P170
 Yoshioka Mayumi (吉岡 真由美) C160
 Yoshizaki Masanori (吉崎 正憲) C370
 Yuan Chaoxia (袁 潮霞) B156
 Yumimoto Keiya (弓本 桂也) P341